

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

(宮 崎 県)

昭 和 4 9 年

経済企画庁総合開発局

縮尺 2 0 万分の 1 土地分類図付属資料目次

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要	1
2. 表層地質の分布とその性状等の概要	1 0
3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性等の概要	1 1
4. 土地利用現況等の概要	1 6
4-1 土地利用現況の概要	1 6
4-2 土地利用可能性分級の地域別の概要	1 9

B 統計の部

1. 土地利用現況	2 2
1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳(県統計資料)	2 2
1-2 D・I・Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳	2 6
2. 自然的土地条件	2 8
2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳	2 8
2-2 標高区分別面積市町村別内訳	3 0
2-3 地形区分別面積市町村別内訳	3 2
2-4 表層地質分布面積市町村別内訳	3 6
2-5 土壌統群分布面積市町村別内訳	4 4
3. 土地利用可能性分級	5 2
3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳	5 2
3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連	5 4
3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連	5 4
3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連	5 4
3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連	5 5
3-2-4 土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連	5 5
3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要	5 6
3-4 土地利用可能性分級別市町村別内訳	5 8

利用者のために

I 編集方針

この付属資料は縮尺20万分の1土地分類図についての概要説明と面積統計とに分けられるが、面積統計については、原則としてそれぞれの縮尺20万分の1土地分類図の統計項目に対応した図幅について面積を測定し製表作成した。

たとえば2-1表「傾斜区分別面積市町村別内訳」は「傾斜区分図」(オーバーレイ)を市町村の行政区画単位に面積測定して作成したものであり、3-2-1表「土地利用可能性分級と地形区分との関連」は「土地利用可能性分級図」および「地形分類図」を用い、前者においては、土地利用可能性分級である類地のパターンを、後者においては地形区分のパターンをそれぞれ重ねあわせて面積を測定し、両者の面積的関連を把握して作成したものである。

ただし、1-1表「土地利用現況別面積」、1-2表「D・I・Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳」は県の統計資料等によって作成した。

以上、両者の関連を示すと次表のとおりである。

統計表作成のために使用した土地分類等の一覧

土地分類図等の名称 統計表の名称		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		地形分類図	起伏量・谷秘度図	傾斜区分図	表(平面的地層地質分類図)	表(垂直的地層地質分類図)	土壌	土壌生産力可能性図	等土壌生産力可能性図	(土地利用可能性分級図)	土地利用可能性分級図	標高区分図
1-1	土地利用現況別面積市町村別内訳								○			○
1-2	D・I・Dおおむね10万人以上の都市の土地利用現況の内訳											○
2-1	傾斜区分別面積市町村別内訳			○								
2-2	標高区分別面積市町村別内訳										○	
2-3	地形区分別面積市町村別内訳	○										
2-4	表層地質分布面積市町村別内訳				○							
2-5	土壌統群分布面積市町村別内訳						○					
3-1	土地利用可能性分級別市町村別内訳									○		
3-2-1	土地利用可能性分級と地形区分との関連	○								○		
3-2-2	土地利用可能性分級と傾斜区分との関連			○						○		
3-2-3	土地利用可能性分級と標高区分との関連									○	○	
3-2-4	土地利用可能性分級と土壌生産力可能性との関連							○		○		
3-3	土地利用可能性分級別主要地域の概要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3-4	土地利用可能性分級別市町村別内訳									○		○

II 利用上の留意事項

土地分類図の各図から測定された項目別パターンの面積は、各図の図示表現の技術的な制約、すなわち縮尺20万分の1の土地分類図の場合には最小図示単位として1 km^2 (図上では5mm四方)を原則とし、特殊な場合においても最小径400m(図上で2mm)を限度としたため、実在の面積とは一致しない場合もあると考えられる。

とくに、パターンの小さい性格をもつ分類項目にあっては、やや少な目に数値が出る傾向がある。また、道路、河川等はその周辺の分類に含まれるのでやや大き目に数値が出る傾向がある。

したがって、この統計表を各種資料として使用する場合には、項目ごとの絶対数値を使用するのではなく、概括的把握ないし項目の構成比率等を用いるようにされたい。

III 表中の記号について

「0」は数値が掲載単位に満たないもの

「-」は該当事項のないもの

「 」空白は編集時において資料がなく不明のもの

IV 県統計等の資料について

1. 市町村別面積

県全体面積7734 km^2 は全国都道府県市区町村別面積調(建設省国土地理院昭和46年年度版)により、単位は km^2 とし単位未満は四捨五入を原則とした。ただし、小林市、えびの市椎葉村は境界未定のため、宮崎県統計年鑑の資料による。

2. 土地理用現況面積

(資料)

農地 「1970年世界農林業センサス」

草地 自然草地については、「1970年世界農林業センサス」

未利用草地については、「宮崎県統計年鑑(1972年)」による。

林地 「宮崎県統計年鑑(1972年)」

宅地 同上

公共用地、その他、総面積より、農地、草地、林地、宅地面積を差引いた数である。

V 調査機関一覧表

総括	宮崎県企画調整室	宮崎市橘通東2丁目10番1号 TEL 0985(24)1111
地形分類	宮崎大学教育学部	宮崎市西丸山町130 TEL 0985(24)3171
表層地質	宮崎県林業試験場	宮崎市大字柏原字高後516 TEL 0985(48)1211
土壌	宮崎県総合農業試験場	宮崎郡佐土原町大字下那珂 TEL 09857(3)2121

土地利用現況 宮崎県企画調整室
土地利用可能性分級 宮崎県林業試験場
宮崎県総合農業試験場

宮 崎 大 学

1. 地形分類図 遠藤 尚、丸目伸一、伊藤律子
(本 図)
2. 起伏量・谷密度 山崎哲男、松山修二、伊藤律子
(オーバーレイ)
3. 傾斜区分図 丸目伸一、松山修二、伊藤律子
(オーバーレイ)
4. 表層地質図
 平面の分類 遠藤 尚、丸目伸一
 断面柱状図 金子弘二
5. 表層地質図 遠藤 尚、
(垂直の分類図)

宮崎県農業試験場

1. 土 壌 図 河野満雄
2. 土壌生産力可能性等級区分図 河野満雄
3. 土地利用可能性分級図 河野満雄

宮崎県林業試験場

1. 土 壌 図 菅 道教、家入 忠
2. 土壌生産力可能性等級区分図 菅 道教、家入 忠
3. 土地利用可能性分級図 菅 道教、家入 忠

宮崎県企画調整室

1. 土地利用現況図 安部大師郎

A 土地条件等の概要

1. 地形区分とその性状等の概要

宮崎県の地形を概観すると、北半部と南東部は山がちで、その間に蝶が羽を拡げた形で低い所が東西に拡がっており、その西端に霧島火山がある。

北半部の山地は日豊・日肥の脊梁をなす九州山地の一部で、その南縁は南方に突出している。南東部の山地は南那珂山地で、その北縁は北方に張り出している。これら両山地に挟まれた地帯の東部には宮崎平野が、西部には北・西諸県盆地群があつて、丘陵地・台地・段丘及び低地が卓越している。宮崎平野と北・西諸県盆地群との間には丘陵性の低起伏山地があり、その続きは盆地群の間を北東から南西に走って、個々の盆地の境となっている。この低起伏山地を諸県山地と名づけておく。北及び南の山地が海に接する部分にはリアス海岸が作られ、山地を刻む主な河川の下流部のみ低地が発達しているが、低地が広く発達する宮崎平野の東縁は単調な海岸線で区切られている。

1.1 山 地

人間の生活域という観点から山地の地域区分を行なう際、谷沿いに人が住み、谷沿いに山に分け入るという現在の活動方式からすると、谷筋を中心とし、尾根筋でとり囲まれた凹地域を単位とした区分が妥当と考えられる（例えば耳谷・一ツ瀬谷など）。然しながら一般には、尾根筋をとり囲む最低所（鞍部・谷筋・山麓末端など）を結んで、凸地域を単位とした区分が行なわれているので、ここでは一般通念に従って、山地の地域区分を行なっておく。

ここで山地としたものは、第三紀中頃の火山岩・火砕岩類や深成岩・脈岩類をも含むが、主として第三紀中頃以前の水成岩層よりなる地域であつて、一部例外として第三紀中頃以後の水成岩層よりなる地域がある。

尚、上記岩層よりなる起伏量200m以下の地域で、低起伏山地という区分肢を設けたほうが良いと思われる場合があるが、地形分類図ではこの区分肢を設けず、すべて山麓地として図示した。従つて、山麓地として図示されたものの中には、真の山麓だけでなく、上記低起伏山地に相当するものや、形態的には丘陵地と変らない標高200m以下のものも含まれている。

1.1.1 九州山地

宮崎県に属する九州山地は、普通には古生層よりなる北日向山地と、中生層よりなる中日向山地とに大区分されてきた。⁽¹⁾然しながら、古生層地帯と中生層地帯との境界とされている仏像線は地形的には明らかでなく、その両側における地形的性格にも大差はない。又、九州山地を全体として見る時、ほぼ延岡・人吉を結ぶ線を境として、二列の山地に区分できるように見える。この線を境とする両側の地形的差違は、延岡附近ではかなり顕著であるが、渡川及び小丸川中流以西、熊本県境までの間では殆んど無くなる。更に、九州山地は五ヶ瀬川を境として、北東部と中央部に分けられる。五ヶ瀬川の両側において地形の形態的性格には殆んど差が無いが、地形の構造的性格にはかなりの違いが認められる。最後に、北川、及び、浦之名川から須木・堂屋敷を結ぶ線の両側で、それぞれかなりの地形的差違が認められる。

以上述べたことから、宮崎県に属する九州山地を次のように区分しておく。

入郷山地

九州山地の縁辺部を作る山地で、性格的には後記する南那珂山地の南半部に似ている。高度・起伏量が一般に小さく、傾斜はS5を主とし、ある程度のS6とわずかなS7を含んでいる。この山地内には珍神山-加子山-仁久志山-駒瀬山の山列が走り、延岡-北郷-西郷、南郷、土々呂-門川-日向、及び東郷等の諸凹地を分けている。その結果、やや高度の大きい中～小起伏山地と、高度の小さい起伏量200m以下の山麓地・低起伏地・丘陵状地とが帯状に交互しているのがこの山地の特徴である。

尾鈴山地

基本的には入郷山地に属する地域であるが、その地域の南西端部においてかなり大規模に噴出した尾鈴火成岩体によって構成されている山地で、山麓部を除いて、高度・起伏量共に大きい。傾斜は南東斜面ではS5を、北・西の斜面ではS6を主とする。

日豊海岸山地

北川以東の山地で、高度・起伏量は小さく、傾斜はS6とやや劣るS5を主とし、S7が稀である。東端は顕著なりアス海岸を作る。

上日向山地

北川以西、五ヶ瀬川以北の山地で、高度・起伏量共に大きく、傾斜はS6を主とするが、やや劣るS7が顕著である。この山地の特徴は、古、中生層の上に乗る第三紀中頃の礫岩層や火山岩・火砕岩層によって山峰が作られていることである。日之影川によって大崩山地と祖母山地とに細分できる。

大崩山地は、古・中生層とその上を覆ううすい礫岩・火山岩・火砕岩層よりなる花崗岩体のルーフという特徴を持ち、花崗岩体そのものは、山地を刻む祝子川・綱ノ瀬川の谷頭部に、低起伏の盆状地を作って露呈しているに過ぎない。なお、大崩山の南にある環状岩脈の部分は、行藤山地(列)として細区分されることがあるが⁽²⁾、いわゆる行藤山列の北縁は大崩山地に連続的に移行している。従ってここでは行藤山列は独立した単位とせず大崩山地に含ませ、その南縁の急崖の一部をもって、上記した入郷山地との境界をなすものと見なしておく。

祖母山地は、その山峰が、古・中生層の上に乗る厚い礫岩・火山岩・火砕岩層によって主として作られており、宮崎県内においては花崗岩体のルーフとしての性格が殆んど無いものである。この山地の西端部には五ヶ所・三田井の盆状地がある。

奥日向山地

入郷山地・尾鈴山地の西側、五ヶ瀬川以南、浦之名川から須木・堂屋敷を結ぶ線以北の山地である。耳川・一ツ瀬川などを境として更に細区分しても良いが、地形的性格には大きな違いが無いので、ここでは一括して記述しておく。

奥日向山地は日肥の背梁を作る山地であり、高度・起伏量共に大きい。傾斜はS6を主とし、かなり

のS5を伴い、またやや劣るがS7が顕著である。稀に山地内の谷沿いに起伏量の小さい所があってそれは中生層が古生層に挟み込まれた構造的凹地ではないかと思われるふしがあるが、詳しいことはわからない。ただ市房山北方の矢立峠（湯山越）附近の小起伏地は、大崩山地における祝子川、鹿川と同じく、花崗岩体の露呈地域を反映したものである。市房山は花崗岩体よりなる残丘といわれているが、⁽³⁾市房山の山峰を作るものは花崗岩ではない。突出した山峰を作る市房山の地形の構造的性格は、延岡から人吉南方に続く低角度衝上断層のクリップであることが第一であり、それにつけくわえて花崗岩体のルーフであることが第二である。矢立峠の北東に続く合戦原の小起伏地は、一種のフェンスターではないかと考えられるが、詳しいことは不明である。この山地の北側斜面には鞍岡・三ヶ所などの小起伏の盆状地があって、五ヶ瀬川に沿って三田井の盆状地に続いている。この小起伏地も古生層中に挟み込まれた中生層の構造的凹地の反映であろうと考えられる。

裏日向山地

浦之名川から須木・堂屋敷を結ぶ線以西の山地であるが、鉄山川以西は肥薩火山地として区別される。この山地は中程度の高度と小さな起伏量で特徴づけられる。傾斜はS5及びS6を主とし、S7は稀である。

1.1.2 諸 県 山 地

宮崎平野と北・西諸県盆地群との間にあるかなり広い地域がその代表的なものであるが、南那珂山地の北西縁に沿い南西に延びて都城盆地の東縁を作り、更に、この山地の北西端部から霧島火山群の南側に向かって断続的に延び、都城・小林・野尻の諸盆地を区切っている。高度・起伏量が共に小さく、特に定高性を示す起伏量200m以下の丘陵状の地域がかなり広く存在するのが特徴である。傾斜はS5を主とし、僅かのS6及びS4を含んでいる。

1.1.3 南 那 珂 山 地

宮崎県南東部の山地で次のように細分される。

鷓 戸 山 地

清武から油津に至る鉄肥街道の東側にある山地で、第三紀中頃以後の水成岩層よりなる。樹鉢山－花切山－岩壺山－郡谷山及び双石山－花立山と続く東・西二列のケスタ山稜で構成され、その間に家一郷谷・猪八重谷の凹地を挟み、東端で弱いリアス海岸を作っている。中程度の高さをもち、中～小起伏、傾斜はS5・S6ほぼ相半ばしている。この山地の南方延長は、大堂津・栄松・夫婦浦を経て築島に続いており、大島はその沈水したものである。

鰐 塚 山 地

南那珂山地の北西部を作る、第三紀中頃の水成岩層よりなる山地である。鰐塚山・雪ヶ峰・東岳・柳岳・男鈴山などを含み、高度はかなり高く、中起伏を主とし、大起伏地を僅かに含む。傾斜はS6とやや劣るS5を主とし、僅かにS7を交える。

日 南 山 地

主として南那珂山地の南半部にあって、第三紀中頃以前の水成岩層よりなる山地である。南端に近い高畑山地を除き、一般に高度・起伏量共に小さく、山麓地又は丘陵状低起伏地がかなり存在する。傾斜はS5を主とし、僅かにS6を含み、特徴的にS4が存在する。この山地の特徴は、前記した入郷山地と同じく、高度・起伏量のやや大きい鹿久山・滝ヶ平山・鯛取山・鹿鳴山・高畑山・笠祇山などの山列又は山魂の間に、低起伏地・山麓地・丘陵状地が帯状に挟まって、凹地帯を形成していることである。これらの凹地帯の例をあげると、飢肥・吾田から塚田・大平を経て高松に至るもの、同じく吾田から榎原・大束を経て下弓田に至るもの、湯上から郡司部に至るもの、本城から遍保ヶ野に至るもの等がある。上記第一と第二の凹地帯の間に鹿久山が、第二と第三・第四の凹地帯の間に滝ヶ平山、鯛取山・鹿鳴山の山列が挟まっている。これらの凹地帯と山列を含む山地を日南一串間山地と名づけておく。鰐塚山地と鶴戸山地との間の山仮屋山地は、本質的には日南一串間山地と同じである。

1. 2 火 山 地

第三紀末以後の火山岩・火砕岩類よりなり、その原形が多少とも保存されているものである。祖母山・尾鈴山のように第三紀中頃の火山岩・火砕岩類よりなり、その後の侵蝕により殆んど原形を失っているものは山地に含ませた。又、第三紀以後の大規模な火砕流堆積物よりなる地域も、火砕岩丘陵地などとして除外されている。

肥 薩 火 山 地

加久藤盆地の北・西壁及びその背面を作る、第三紀末以後の火砕岩・火山岩類よりなる山地である。宮崎県内の分布は限られているが、熊本県南西端部、人吉から下流の球磨川以南西、鹿児島県の大平をおおって、一連の火山地域を作っている。肥薩火山地の連続は、鹿児島県図幅内では、侵蝕により原形が破壊されているので、肥薩山地とされているようであるが、宮崎県内では、熔岩流の形態が保存されているので、火山地としておく。盆地の壁は中起伏、背面は小起伏である。飯野東方の八幡ヶ岡、御池南東の長尾山、母智丘なども同期の火山岩からなっている可能性がある。

霧 島 火 山 地

第四紀末以後現在までの活動による二十数個の火山よりなる複合火山である。一般に下半部は流出した熔岩が段丘状に積み重なってきた中～小起伏地であり、その上に中～大起伏の火山錐部が乗っている。熔岩流末端には、屎々、「流れ山」状の孤立した丘陵状地形を見るが、これらは火山山麓地として図示されている。

1. 3 丘 陵 地 ・ 台 地 ・ 段 丘 ， 及 び 低 地

地形分類図作成のための分類基準からすれば、丘陵地域と台地・段丘地域と低地域は、夫々別個の地域として区分すべきものと思われる。然しながら、これらは密接に組み合って、一つのまとまった地

域を作ることが多いので、ここでは一括して記述しておく。ここに言う丘陵地・台地・段丘は、第三紀中頃以後の水成岩層分布地域や、第三紀以後の火砕流堆積物分布地域において、台地地形が保存されているか、又はそれが侵蝕されて段丘及び丘陵地となったものが主であり、低地は最低位の地形面である「沖積層の表面」である。これらの地形は宮崎平野及び北・西諸県盆地群地域に主として発達しているほか、山地域においても、川口附近や谷沿いに点在している。尚、先に記したように、標高200m以下の丘陵状地であっても、第三紀中頃以前の岩層よりなる地域は、山麓地として図示されている。

台地・段丘の表面は火山灰層でおおわれているので、その意味ではローム台地・ローム段丘と言えるが、分類図では、表面の火山灰層の下位にある構成物質に注目した台地や段丘の分類がなされている。丘陵地表面も火山灰層でおおわれていることがあるが、低地の表面には火山灰層を見ないのが普通である。

平野及び盆地域

1.3.1 宮崎平野

ここに言う宮崎平野は、美々津・立野・川原・杉安・福王寺・法華岳・壱道・上畑・倉輪・川口・高岡・田野・清武・青島を結ぶ線で区切られた地域であり、新第三紀の水成岩層を基盤とし、その上に乗る第四紀層の堆積面、及びそれが侵蝕を受けて作られた段丘や丘陵地、シラス層の堆積とその侵蝕による台地や段丘、河岸及び海岸の低地を含んでいる。この地域の北から南に向かって、平野の中は広くなり、台地の開析は著しくなる。従って、北程台地面の保存が良く、南程丘陵化が著しい。又、低地の発達も南程良好である。

段丘群及び丘陵地

宮崎平野の丘陵地・台地・段丘を、小丸川、一ツ瀬川、及び大淀川—綾南川を境として、北部段丘群、中北部段丘群、中南部段丘群、及び南部丘陵地に分けて記述する。南部丘陵地と南那珂山地との境界に沿って、田野の小盆地を作る段丘群と、清武川・加江田川に沿う段丘群がある。以上の台地や段丘には洪積層や段丘礫層を伴い、その表面は火山灰層でおおわれている。

宮崎平野北部段丘群

主として中位段丘及び下位段丘と、それらを刻む小河川に沿う低地よりなる。段丘面の形成に関係した砂礫層そのものは薄い、基盤である尾鈴火成岩類や新第三紀層との間に、かなり厚い洪積層（礫・砂・シルト・凝灰岩層など）が介在していることがある。段丘面はよく保存され、丘陵地は段丘面を刻む小河川の谷壁部に見られるに過ぎない。海岸線に平行して鮮明な海蝕崖が連続して形成されており、現在の汀線との間に、巾狭まい海岸低地が細長く続く。都農川以南では段丘面の中が広くなり、名貫川の開析扇状地群を構成する中位及び下位段丘が附け加わる。小丸川沿いの侵蝕崖もかなり鋭いが、谷底に低地が開けた大きな谷によって開析されている。

宮崎平野中部段丘群

上位及び中位段丘を主とし、低位段丘を伴っている。南程段丘面の開析が進んでいる。一ツ瀬川を境

として中北部段丘群と中南部段丘群とに分けて記述する。

宮崎平野中北部段丘群

小丸川と一ツ瀬川との間の段丘群は、日向の海岸段丘として古来有名であるが、段丘面は河成面が多く、海成面は少ない。段丘砂礫層は薄い、基盤の新第三紀層との間に、かなり厚い洪積層を挟むことが多い。段丘面の保存はかなり良いが、或る程度開析を受け、開析谷の部分は丘陵状を呈している。開析谷底には低地が僅かに見られる。小丸川・一ツ瀬川に沿う侵蝕崖はかなり鮮明であるが、細い谷に刻まれ、鋸歯状の髪を生じている。海側の侵蝕崖は北半部では明瞭であるが、南半部では谷底に低地を伴う谷によって開析され、不鮮明である。

宮崎平野中南部段丘群

一ツ瀬川と大淀川・綾南川との間の段丘群である。段丘砂礫層は薄く、基盤の新第三紀層との間に挟まる洪積層は北端に近い部分にのみ著しい。段丘面はかなり開析され、多くの場所で表層がはぎ取られて基盤が露呈し、丘陵地となっている。西方に行くと段丘面がある程度保存されているが、そこでも侵蝕によって断片的になっている。開析谷底には低地がかなり発達しており、段丘群のまわりの侵蝕崖も不鮮明である。南部ではシラス台地が付け加わるが、これは時代的には下位段丘に当たるものである。最西端の尾立原（綾町）のみはかなり厚い洪積層を伴う丘陵である。

宮崎平野南部丘陵地

大淀川以南の宮崎平野は侵蝕が進み、大部分基盤の露呈した丘陵地となっており、開析谷底には低地が発達している。段丘面の保存は稀で、シラス台地が主な段丘となっている。最西端の二反野原や漆野原は、尾立原と同じく、かなり厚い洪積層（礫・シルト・軽石流堆積物・凝灰岩層など）を伴う丘陵である。

田野盆地

田野盆地の周辺にはかなり厚い洪積層（礫・シルト・軽石流堆積物・凝灰岩層など）からなる丘陵があり、その内側にシラス台地や下位段丘に当たる開析扇状地群が発達している。段丘礫層は薄い、基盤との間にかなり厚い洪積層を見ることが多い。これらの段丘群を刻む谷底には低地もかなり形成されている。

清武・木花段丘群

清武川の支流である水無川や加江田川が南那珂山地を出る所に形成された、下位段丘に当たる開析扇状地群であって、段丘礫層は薄い。

低地

ここに記述する低地は、宮崎平野を貫流する主な河川に沿う河成の低地と、海岸に沿う海成の低地である。河成低地は氾濫原性（自然堤防と旧河道・後背湿地）を主とし、川口附近では三角洲性である。

表面の形態を見ると氾濫原性であっても、平野の奥までかなり厚い沖積層を伴い、本質的には三角洲性と変らない。海岸低地は砂丘と後背湿地性低地を含んでいる。

河成低地には次のものがある。

小丸川低地

一ツ瀬・三納・三財川低地

大淀・本庄・綾南川低地

清武・加江田川低地

海岸低地は北から南に向かって広くなり、南端の青島で尖滅する。北部段丘群の海岸では殆んど発達していない。中北部段丘群の前面では、巾の狭まい古い砂丘を主とするが、中南部海岸では、海岸に沿う新しい砂丘の内側に、古い砂丘が巾広く発達し、数条に分岐して、その間に複数の湿地性低地を挟んでいる。南部丘陵地の海岸では古い砂丘が殆んど無く、巾狭まい一条の新砂丘が海岸に沿って走り、その背後に巾広い湿地性低地が見られる。南端部の加江田川から青島にかけては、砂丘地だけが見られる。

1.3.2 北・西諸県盆地群

都城盆地

東側を南那珂山地と諸県山地及びその南東支脈、北及び西側を諸県山地の北西支脈で挟まれた地域ではほぼ中央部を大淀川の上流が南から北に貫流している。大淀川の東側では、南那珂山地から流下した諸河川による開析扇状地群が低位段丘を作っている。大淀川の西側及び盆地の北半部には、主として泥質乃至砂質の二次シラスよりなる中位シラス台地があり、最西部にはシラス台地面を僅かに残存する丘陵地がある。この丘陵地域はシラス地帯とされており、事実シラス台地が分布しているが、その本体はシラス層よりも古い火砕流堆積物（後述する加久藤火砕岩）であると考えられる。

以上の段丘群を刻む大淀川及びその支流に沿って、氾濫原性の低地がかなり発達している。大淀川の東側の諸支流に沿う低地は礫が多く、一種扇状地性低地と言え言えないことはない。

野尻盆地

九州山地南端部と諸県山地との間の小凹地で、東側は先に記した漆野原で限られている。主としてシラス台地とそれが侵蝕されて生じた丘陵地とから出来ており、大淀川とその支流である岩瀬川は深い峡谷を作ってこの盆地を貫流している。この地域もシラス地帯とされているが、シラス層は表面だけで、下半部は漆野原の下に見られる洪積層（礫・シルト・軽石流堆積物・凝灰岩層など）によって構成されている。開析がこの洪積層に達していない所では、谷底に低地を見ることがある。盆地内には埋積され残った諸県山地の断片が、孤立した丘を作って点在している。

小林盆地

裏日向山地・諸県山地北西支脈及び霧島火山に囲まれた凹地である。裏日向山地の南側には加久藤火砕岩及びその熔結岩が分布して丘陵地を作っている。霧島火山の北及び東側では、熔岩流末端から形成された新・旧の扇状地が開析されて、下位及び中位の段丘を作っている。盆地底の大部分はシラス台地とそれが侵蝕されて生じた段丘よりなり、最低位に氾濫原性低地がかなり発達している。

加久藤盆地

肥薩火山地と霧島火山とに挟まれた凹地である。中央を川内川が東西に貫流し、その両岸に氾濫性低地が広く発達している。南・北の盆地縁に沿ってシラス台地が連続して見られ、その下に河成段丘を伴っている。東端での盆地底はシラス層下底とほぼ一致するが、西方に向かうにつれ、シラス層下の洪積層（シルト・シラス質凝灰岩層など）が露呈してくる。京町南方において、これらの諸層は褶曲し、台地地形が破壊されて、ケスタ・ hogバック性の丘陵地となる。川内川の南には、飯野・大溝原の両開折扇状地が下位段丘を作っている。盆地の北西隅では盆地壁下に小さな扇状地段丘面が屢々発達している。

1.3.3 山間地域の丘陵地・台地・段丘・低地

九州山地域

五ヶ瀬峡谷

九州山地を横断する五ヶ瀬川は、一種の構造的弱線に沿うものと思われるが、上流から中流にかけて特徴的な峡谷を作り、下流には延岡を中心とした低地を形成している。

五ヶ瀬峡谷は五ヶ瀬川及びその支流の谷底を埋積した阿蘇熔結岩の分布する地域である。熔結岩層は谷壁において急崖を作り、一種の台地状地形を呈するが、その表面はかなり起伏に富んでいるので、地形分類図では丘陵地に含ませている。熔結岩層は複数のことがあり、夫々の基底はかなり凹凸を示し、その間に礫・シルト・凝灰岩層などを挟在することがある。表面近くに軽石流堆積物があって、最上位数 m は新しい火山灰層となっている。三田井より上流の峡谷底は主に熔結岩層よりなり、基盤岩層は点々と露呈するに過ぎないが、三田井より下流の谷底部及び谷壁下部は基盤岩層よりなり、熔結岩層は谷壁上半部を構成しているのが普通である。谷壁部には小規模の河岸段丘が点在している。

五ヶ所高原

祖母山の西麓にある五ヶ所高原は、熊本県より続く阿蘇外輪山南東斜面の末端部であり、本質的には五ヶ瀬峡谷と同じであるが、水系が異なっているので、別個の地域として区分した。阿蘇熔結岩層は、そのほか、北川・中流以上の耳川・小丸川及び一ツ瀬川の上流にも点々と分布している。

延岡低地

五ヶ瀬川・祝子川及び北川の下流域を主とし、その延長は土々呂に続いている。上記三河川の河岸では氾濫原性、河口附近では三角洲性低地である。海岸に沿って新しい砂丘があり、伊福形ではその背後に更に古い砂丘状地があって、南延岡以南、沖田川・井替川等の流域では埋積された後背湿地状地である。

日向・門川低地

五十鈴川川口附近及び塩見川に沿う低地である。五十鈴川の北側では、加草・門川など古い砂丘と思われるやや高い面と、その背後の谷を埋積した低地であるが、五十鈴川の南では、古川の古砂丘の海側に新しい砂丘が附け加わる。五十鈴川下流部の両岸は氾濫原性低地である。塩見川上流域は氾濫原性低地であるが、下流部は三角洲性低地となり、牧山・米山・櫛の山その他の孤立した丘陵状地を埋積している。

塩見川の南側には海岸に新しい砂丘があり、その背後に、比良・松原・切島山・六反田の四列の砂丘状地が並走し、その間に後背湿地状低地が作られている。

その他の低地など

九州山地内の谷沿いには低地を見ることが稀であるが、入郷山地の凹地部では、北郷・西郷・南郷・東郷などに低地がかなり発達している。又、日豊海岸山地内の谷底にも小低地の分布を見る。これらは一般に、阿蘇熔結岩台地やそれ以後の河成段丘を伴っている。裏日向山地では、浦之名川の上流にシラス台地を伴う小低地があり、須木には、加久藤火砕岩の丘陵地やそれ以後の河成段丘及びシラス台地を伴う小低地を見る。顕著なリアス海岸を作る日豊海岸の入江には、古江・熊野江・須美江・浦城などの孤立した小低地が見られるが、これらは一種扇状地的性格を示し、中流の河床に流水を見ないことがある。

諸 県 山 地 域

諸県山地内では、主な谷にそって分布するシラス台地とそれ以後の段丘に伴って小低地が見られる。境川及び国道十号線附近で顕著である。諸県山地の北西支脈は北西―南東方向に並走する谷によって寸断され、後川内（高原）・高崎などの凹地があつて、加久藤火砕岩の古い丘陵をおおうシラス台地やそれ以後の段丘に伴って、かなりの低地が発達している。霧島火山南東側にある諸県山地も同様である。諸県山地の南東支脈では、主として沖水川に沿って、シラス台地とそれ以後の河成段丘が発達している。

南 那 珂 山 地 域

南那珂山地を刻む主な河谷底には氾濫原性低地がかなり発達し、シラス台地や段丘を伴っている。主として河成の氾濫原性低地であるが、海岸では砂丘を伴うことがあり、その背後では後背湿地性低地が附属する。主な低地を下に掲げておく。

広渡・酒谷川低地

細田・南郷川低地

瀧上川低地

本城川低地

福島・大平川低地

シラス台地は、本城―市木以北の谷沿いに分布し、福島川・大平川流域で特に著しい。

(1) 日本地名大事典（朝倉書店），1，441頁，宮崎県の項。

日向の風土と観光（宮崎県刊），13～15頁。

(2) 世界大百科事典（平凡社），21，382頁，宮崎（県）の項。

日向の風土と観光，同上。

(3) 日本地名大事典，1，43頁，市房山の項。

（宮崎大学教育学部 遠 藤 尚）

2. 表層地質の分布とその性状等の概要

2.1 一般地質

宮崎県は、日本列島の大構造から見ると、西南日本外帯に属している。西南日本外帯は、北から変成岩を主とする三波川帯、古生層を主とする秩父累帯、中生層及び古第三紀層を主とする四万十帯に分けられている。宮崎県の北西端部には秩父累帯があって、北東から南西に走っており、夏木山・諸塚山銚子笠を結ぶ線を境として、四万十帯に接している。この線は仏像構造線と呼ばれている。秩父累帯は、北から南へ、緑色岩類を特徴とする北帯、チャートと砂岩・粘板岩からなる中帯、及び石灰岩を特徴とする南帯に分けられる。

四万十帯は、ほぼ延岡から市房山に連なる屈曲した線を境として、北西側の恐らく中生層よりなる弱変成四万十帯と、その南の古第三紀層を主とする非変成四万十帯に大別できる。非変成四万十帯の中央部は低くなって、九州山地と南那珂山地とを分けている。この低い部分の東側には、新第三紀層や第四紀層よりなる宮崎平野があり、西側には、主として第三紀末以後の火山噴出物で埋められた北・西諸県の盆地群がある。宮崎平野の基盤である新第三紀層は、南に延び、南那珂山地の東縁をかすめて、市木の築島に達している。

九州山地の秩父帯・四万十帯では、宮崎・大分県境附近において、第三紀中頃の見立礫岩の堆積や祖母山火山岩類の噴出と堆積があり、それに引続いて、大崩山花崗岩底盤や各種岩脈類の形成が行なわれた。ほぼ同時期に、熊本県境では市房山花崗岩底盤が形成され、九州山地の南東縁部では庵川礫岩の堆積と、尾鈴山火成岩類の活動があった。第三紀末には九州山地の南西部で火山活動が活発で、大量の火砕岩や熔岩の噴出と堆積が行なわれ、洪積世末には五ヶ瀬川その他の谷沿いに阿蘇火砕岩やその熔結岩の堆積があった。

宮崎平野では、新第三紀層の上に洪積世前半の地層が堆積し、洪積世後半にはそれが侵蝕されて顕著な段丘地形を残し、沖積世には、主要河川や海岸に沿って沖積層の堆積が行なわれた。北・西諸県の盆地群地域は、第三紀末以後火山活動の舞台となり、特に洪積世中頃の加久藤火砕岩や、洪積世末のシラスによって大規模に埋められた。これらの火山噴出物は、宮崎平野の洪積層の中にも認められる。シラスの堆積と前後して、霧島火山の活動があり、大規模な熔岩の流出に引き続いて、スコリアや軽石の堆積を伴う火山錐の形成があった。これらの火山吐出物は、盆地や平野を構成する台地・段丘の上に保存されている。

2.2 応用地質

宮崎県には、主として堆積岩類が分布しているが、秩父帯・四万十帯中には、マンガン・銅・錫・砒素アンチモンその他の金属鉱床が多数胚胎している。その中には、見立・土呂久等珍しい鉱物を産出した鉱床が含まれているほか、有名・無名の鉱床が多数存在する。石材としては、四万十帯中に含まれて

いる珪質赤色岩は硯石として、秩父帯中の赤白珪石はジャスパーと呼ばれ、装飾用石材として利用されている。土木・建築用石材としては、阿蘇熔結岩やシラスに伴う熔結岩が古来使用されて来た。

宮崎県内の温泉は京町を中心とするものである。えびの高原は噴気を利用するもので、硫黄山の硫黄採集は有名であった。非変成四万十帯及び宮崎平野の新第三紀層からは、各地で冷泉が湧出している。宮崎平野の新第三紀層や加久藤周辺では天然ガスが豊富に含まれている。新第三紀層中の水は各種イオンに富んでいる。

シラスは水に弱く、豪雨や地震に伴って崩壊し、大きな問題となっている。シラスの特徴の一つは、それが台地を作っていることであって、シラスの崩壊は台地が開析される過程のミクロな表現と見做し得る。従って同様の崩壊は、シラス台地に限らず、盆地や平野を構成する台地・段丘や第四紀の火砕岩よりなる丘陵地においても、発生する可能性がある。斜面の崩壊はそれ以外にも、色々な地質条件の所で発生している。えびの市真幸西内堅の山津波は、加久藤盆地北西壁を作る第三紀末の火砕岩類の上に発生した。鶴戸山地の新第三紀層では、ケスタの順層側の地送り性崩壊が著しい。四万十帯では、ケスタの順層側だけでなく、逆層側にも地送り性崩壊が発生している。山地を作る岩層は堅硬ではあるが、擾乱によるひび割れが発達しているので、山地の開発が進むと共に、山地斜面の崩壊が促進される傾向にある。特に延岡構造線に沿っては、地送りや斜面崩壊が著しいようである。非変成四万十帯では、砂岩優勢な部分が山稜を作り、頁岩優勢な部分が凹地を作る傾向にある。頁岩優勢な部分は丘陵状地形を呈することが多く、開発が進められる傾向にあるが、岩層はかなりの擾乱を受けて破碎されており、切り取り法面が崩壊したり、水を含んで膨潤化現象を起こしたりすることがあるので、注意すべきである。砂岩優勢な部分は、順層側に緩く、逆層側に急な斜面をもつケスタ山稜を作ることが多く、ケスタの背面側で地送り性崩壊を、ケスタの崖面側では急斜面を薄くおおう表層の崩壊を発生させている。秩父帯中の緑色岩は蛇紋岩化し、軟弱な岩層となることがある。大崩・市房の花崗岩は深くまでマサ化しており、シラスと同様の崩壊を発生させている。平野部においても、台地の開析が進んだ丘陵状地では、基盤の新第三紀層が露出しており、その順層側の斜面下端部が無秩序に切り取られる傾向が見られるのが注目される。

(宮崎大学教育学部 遠藤 尚)

3. 土壌統群の分布とその性状および生産力可能性の概要

大分類(土壌群)からみた本県の土壌分類は、温暖多雨といった気候的な土壌生成要因によって林地では褐色森林土の分布が大部分を占め、ほかに火山灰を母材とした黒ボク土、火山噴出物の影響を強くこした火山抛出物未熟土および著しい表面侵蝕の結果生じた残積性未熟土が主たるものであり、それぞれの分布は地形、地質等により特徴的な出現をしめしている。地質時代の気候風化による赤黄色土はきわめて小部分に分布するに過ぎない。

農耕地の畑地は第三紀からなる丘陵地と更新世段丘面並びに県南西部のシラス台地に大部分が分布しそのほとんどが黒ボク土である。その他海岸沿いの砂丘未熟土や河川流域には褐色低地土もわずかなが

ら分布する。

水田は、河岸沿いの平野部や河川流域の谷底平野に発達し、灰色低地土が大部分を占めている。また段丘面やシラス台地には黒ボク土も分布する。これら9種類の大分類(土壌群)はさらに27種類の土壌統群に小分類される。各土壌統群は、その生成要因および形態性状が基本的には同一とみなされるものであるが、地質母材の変化・位置・地形・植生など環境因子の若干の相違が長期にわたり影響した結果その性状や生産力にも変化がみられる。

土壌生産力の面からみると農耕地では、化学性の不良なことが問題となるが林地土壌ではむしろ物理性の良否が問題となり、堆積様式によって物理性が支配されることが多い。平坦地の黒ボク土は一般にわるく、微粒質で土壌孔隙の少ないカベ状構造をしめすことが多い。傾斜面とくに山腹崩積土や麓屑面など火山灰土と基岩風化物の混合母材からなる黒ボク土は多腐植、礫質で褐色森林土の生産力に劣らない生長をしめす場合もある。淡色黒ボク土壌は腐植を含んだ表層も浅く、生産力は劣り、乾性褐色森林土壌と褐色森林土壌の中間に位する。

土 壌 統 群 一 覧 表

大土壌群	土 壌 統 群	大土壌群	土 壌 統 群
岩 石 地	岩 石 地	赤 黄 色 土	赤 色 土 壌
未 熟 土	残 積 性 未 熟 土 壌	褐 色 低 地 土	褐 色 低 地 土 壌
	砂 丘 未 熟 土 壌		粗 粒 褐 色 低 地 土 壌
	粗 粒 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壌		
	風 化 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壌		
黒 ボ ク 土	粗 粒 風 化 火 山 抛 出 物 未 熟 土 壌	灰 色 低 地 土	細 粒 灰 色 低 地 土 壌
	厚 層 黒 ボ ク 土 壌		灰 色 低 地 土 壌
	黒 ボ ク 土 壌		粗 粒 灰 色 低 地 土 壌
	粗 粒 黒 ボ ク 土 壌	グ ラ イ 土	細 粒 グ ラ イ 土 壌
	多 湿 黒 ボ ク 土 壌		グ ラ イ 土 壌
褐 色 森 林 土	淡 色 黒 ボ ク 土 壌	泥 炭 土	粗 粒 グ ラ イ 土 壌
	粗 粒 淡 色 黒 ボ ク 土 壌		低 位 泥 炭 土 壌
	乾 性 褐 色 森 林 土 壌		黒 泥 土 壌
	乾 性 褐 色 森 林 土 壌 (黄 褐 系)		

3.1 岩 石 地

急傾斜で侵蝕の極度に進んだ基岩の露出地または土層がきわめて浅い岩露頭を主とした岩石地である。海蝕による断崖地や谷侵蝕による険崖地あるいは晩壯年期山地の山頂および山頂受蝕面にみられる。県北部および県北西部の花崗岩・花崗斑岩・石英斑岩類を基岩とする地域および県北山地の稜線が海洋に突出した部分に海蝕断崖地として分布している。

樹木の生育はほとんど見られず、比較的條件の良いところでアカマツやカン類が僅かに認められる程度で土壤生産力の面からの利用可能性はほとんどない。

3.2 未 熟 土

本県に出現する未熟土は、①残積性未熟土壌、②砂丘未熟土壌、③火山性未熟土壌の3つに大別できる。残積性未熟土は著しい表面侵蝕の結果、層の分化がきわめて不完全で表層の腐植層が非常にうすいかまたは直ちに風化母材層や基層に移行するもので、基岩は中生界あるいは第三紀の砂岩・頁岩を主とし、一部に石英斑岩を母材とするのもみられる。いずれも海風の影響をまともに受ける東部海岸の突出した凸型斜面および稜線上にみられる。A層の発達は弱く、構造の発達は微弱である。植生はカン・シイ類・クロマツおよびヒサカキ・ハマヒサカキ・シャシャンボ類が多いがいずれも矮性で生育は不良である。

土壤生産力はきわめて悪く施業林としての可能性は乏しく、土壤流亡を防止するための取扱いに注意を要する。砂丘未熟土壌は海浜砂丘にみられる粗粒質土壌で表層は腐植の浸透している浅い層がみられる。下層土は、おおむね黄褐色を呈し、土壤養分はきわめて乏しい。理化学性は透水性が良く、水分保持力が劣るため生産力は低いが防風防潮林としての保安効果は大きい。また後背地は畑地として利用されている。大部分は宮崎平野部に分布するが県北ならびに県南部にも分布している。

火山性未熟土壌は、本県唯一の火山帯に属する霧島火山の抛出物に由来するもので、霧島連山の高海拔地にまとまって分布し、山麓部では点々と局部的に分布している。いずれも、表面の土壌化の歴史が新しく火山抛出物（火山砂・灰石等）により形成される土壌で表層が壤質～粒質であっても50cm以内にスコリヤ・浮石を含む場合はこの土壌に含めた。また、山麓部では細粒質の火山抛出物を母材とするもので、黒色の表層土が流亡してきわめて浅いかまたは下層のアカホヤが露出した未熟土がみられるが侵蝕を受け易い地形で局部的分布をしめしている。

霧島山系は連山であるが独立峯的・自然環境下にあるため、海拔1,000m以上では森林としての生産力はきわめて低く、ことに火山性未熟土壌では林木の成長も、矮性となり灌木状を呈することが多い。

3.3 黒 ボ ク 土

黒ボク土の分布は、霧島火山に起因する火山灰性のものももっとも広く、県中部以南における黒ボク土はほとんどこの火山灰を母材とするもので数次にわたる火山物質の堆積層序がみられる。県北西部熊本県境寄りには、阿蘇火山系の火山堆積物がまとまって分布するほか、九州山地の日向灘に向かう支尾

根の緩傾斜部や山腹下部の緩斜地にも火山灰性黒ボク土の分布が数多く見られる。このように黒ボク土は本県の全域を通じてその影響がみられる（分布率17.3%）。地形の急峻な山地地形のところでは、火山灰土の流亡によってその被覆は見られず、山麓部では火山灰または火山灰と基岩風化物との二次的な混合堆積物が多くみられる。ことに、南西部内陸地域、南那珂山間地域、宮崎平野地域でその分布度合いが高く、低海拔地では農耕地としての利用がはかられている。

黒ボク土のうち厚層黒ボク土壌、多湿黒ボク土壌はそのほとんどが農耕地に利用されている場合が多い。黒味の強い表層土が5cm~15cmの黒ボク土壌は、位置・地形が出現傾向を大きく支配しており、台地・段丘・山麓緩斜面・緩頂面および谷頭緩凹部等のいわゆる安定地形に分布しており、その利用は林地農耕地とも相半ばしている。淡色黒ボク土壌は、黒ボク土壌の分布区域で鈍頂な稜線部など、やや乾燥の影響をうける緩凸面に分布し、黒味がやや弱い土壌であって、母材や成層の状態は黒ボク土壌とは同様である。

3.4 褐色森林土

山地土壌におけるもっとも一般的な土壌で県下全域にわたって広く分布する。ちなみに本県における褐色森林土は全県土の62.9%（森林面積の82.3%）に達している。土色は、酸化鉄の影響で7.5YR~10YRの色相を有することが多い。長期に及ぶ森林植生下でたえず有機物の供給をうけ気候的な表層風化と相まってA層・B層・C層の成層をなし、位置・地形・堆積様式・基岩の種類あるいは森林の取り扱いによって成層の状態や性状を異にしている。褐色森林土の中で黄褐色または赤褐色に属するものは降水量の少ない海岸地域に分布し、降水量の多い起伏量の大きい山間地域では、いわゆる褐色森林土壌が広く分布している。褐色森林土は、内容的には乾性から湿性にいたる水湿条件の差を主とした分類から土壌型でBA型からBF型まで分かれ、この土壌型決定上の土壌の諸因子の変化が生産性についても大きく支配している。乾性褐色森林土（黄褐色・赤褐色を含め林野土壌調査におけるBA・BB・BCを乾性土壌とする）は、一般的には土層が浅く水分が流去し易いかまたは、風衝などによる蒸散の激しい山頂稜線部や山腹凸斜面に分布する。また適潤性の褐色森林土壌は主として、中腹以下に出現し特に水分条件の悪い地域には、谷筋だけに細長く分布している。

湿性褐色森林土壌（林野土壌調査におけるBE・BF型土壌）は、北向の下向斜面上部などで、水分環境に恵まれた地域の谷筋に出現しているが、分布範囲がせまく、局部的に出現することが多いので、図化できるものは非常に少なかった。主として県中・北部の九州山地における主稜・支稜線をはさんで帯状にしかも広範囲に出現しているが、大部分は急傾斜による土壌侵蝕と風衝その他乾燥の影響が強くまた南向の尾根肩で緩傾斜凸斜面では水分の透水性・浸透性が悪いため腐植土層（表層）の発達が悪い。植生は、一般に天然生広葉樹林をしめていることが多い。一般に土壌生産力は低いが、黄褐色の乾性褐色森林土に較べると幾分雑木の育成は良好である。乾性褐色森林土壌（黄褐色）は主として海岸線に近い海拔400m以下の地域にみられ県北部に分布するものは、中生代四万十層群の砂岩を母材料とし、小中角礫の含量が多い。県南部においては宮崎層群の砂岩・泥岩を母材とし丘陵地形のため土壌は堅密となり理化学性が劣る。ともに土壌生産力はきわめて低い。褐色森林土の分布は降水量が多く、起伏量が大きな県中北部の海岸線を除く区域で広く分布しており、土壌の理化学性が良好なため、スギ人工林の

推進地域となっているが、この土壤は堆積様式・地形・位置・方位・その他の要因によってその土壤がもつ理化学性の性状も異なり、土壤生産力もかなり幅をもった土壤となっている。

褐色森林土の黄褐色系は前記の乾性褐色森林土（黄褐色系）が現われる区域内の谷筋に分布することが多い。スギ・ヒノキの人工林化がすすめられているが、生産力は前述の褐色森林土壌にくらべかなり低い。

湿性褐色森林土壌の分布は、褐色森林土壌の出現する下部谷筋に分布するが、一般に巾広い分布をしめさず局部的で凶化できないが点的で出現頻度はかなり高い。なお、この土壤は水分環境がもつとも良好で、A層の発達もよくことに理化学性が良好なため、林地としてはもつともすぐれた条件を備えており、大部分スギの人工林地となっている。

3.5 赤黄色土

北部海岸地域の丘陵地で標高100m以下に分布する。大部分は林地であるが、一部には果樹園もみられる。四万十層群の千枚岩や粘板岩の風化物を主母材とし、赤黄色土の大部分は礫質で、保水力が小さいので、干害の危険性が大きい。保肥力は小さく、土壤の養分状態も低いいため林地並びに果樹園の生産力は低い。

3.6 褐色低地土

県内各河川流域の沖積地で、周辺部より比較的高い自然堤防上に分布し、畑地・桑園等に利用されている。本土壤の大部分は中粒質で、保水力および保肥力等は中庸である。干害の恐れは少なく、養分の溶脱も比較的少ない。土壤の養分状態は良好で、生産力は高い。一部には粗粒質も分布するが、その面積は少ない。粗粒質は干害の恐れもあり、保肥力も小さく、土壤の養分が少ないため生産力は低い。

3.7 灰色低地土

沿海平坦部や河川流域の沖積平坦面に広く分布し本県水田土壤の大半を占めている。細粒灰色低地土壌は第三紀層の頁岩を主母材とし宮崎平野、南那珂地域に多く分布する。作土下の色調は灰色～灰褐色を呈し、土壤構造が発達し、各種の斑紋がみられる。保肥力は比較的高く、養分の溶脱は比較的少ない。土壤の養分状態は良好で、水稻の生産力は高い。灰色低地土壌（中粒質）は、第三紀層の頁岩・砂岩並びにシラス等を主母材とするもので、宮崎平野や南西部内陸地域に多く分布する。細粗質とはほぼ同じで水稻の生産力も比較的高い。

粗粒灰色低地土壌は、県内各河川の上流地域、谷底沖積の氾濫地、自然堤防あるいは河口周辺部等に分布する。粗粒質のため保肥力は小さく、また鉄・珪酸・その他の塩基類の溶脱が多く、土壤の養分状態は悪い。老朽化水田はこの土壤に多くみられ、水稻の生産力は低い。

3.8 グライ土

谷底平野の沖積平坦面や沿岸平坦部の比較的低位部に分布する。作土以下の全層あるいは、ほぼ深さ50cm以内よりグライ層の出現するものである。落水後も排水不良のため、二価鉄の存在で青色～青灰色を呈している。細粒グライ土壌は北部海岸地域、宮崎平野、南那珂地域等に多く分布する。保肥力は高く、土壌の養分状態は良好である。水稻は根腐れ障害を受けやすく生産力はやや低い。中粒質のグライ土壌も細粒グライ土壌と同じく、県内各地域に分布する。保肥力ならびに土壌の養分状態等は細粒グライ土壌とほぼ同じである。水稻は根腐れ障害を受けやすく、生産力はやや低い。粗粒グライ土壌は南那珂地域、宮崎平野、北部海岸地域、南西部内陸地域等に分布する。作土直下より粗粒質となることが多い。保肥力は小さく、土壌の養分状態は低い。なお地下水位が高く、過湿田が多く、従って水稻は根腐れ障害が大きい。土性が粗いため、肥効の持続性が悪く水稻の生産力は低い。

3.9 泥 炭 土

海岸砂丘地の後背低地あるいは沖積盆地の湖沼跡等に分布する。低位泥炭土壌はヨシを主材料としたもので、未分解の有機物が断面中に出現する。宮崎平野に多く分布している。保肥力は中庸で、土壌の養分状態は比較的良好である。地下水位が高く、湿田が多い。従って還元による水稻の根腐れ障害が大きく水稻の生産力は低い。

黒泥土壌は泥炭土壌に接して分布することが多い。断面中に黒色の有機物に富んだ粘質土壌が出現する。泥炭土壌よりも有機物の分解がさらに進み、植物の遺体の痕跡が認められない。保肥力は高く、土壌の養分状態は良好である。水稻の生産力は高い。

(宮崎県林業試験場 管 道 教)
(宮崎県総合農業試験場 河 野 満 雄)

4. 土地 利用 現況 等 の 概 要

4.1 土地 利用 現況 の 概 要

宮崎県は、県土の75%を森林・原野が占め、西北部は九州山脈の背梁地帯で峻険な山岳地域であり傾山・本谷山・祖母山・国見岳・市房山などの1,600～1,700m級の高嶺が連立している。この背梁地帯から南東側の海岸地帯に向かって、古い地層から新しい地層が分布している。これに対応して地勢は北西側から南東側に高度を減じ、県全体として日向灘に面する南東斜面を形成している。地質構造に支配されて形成されたこのような地勢的条件は、冬季における北西季節風を下降気流とし、日照時間の長い気象的条件を生み、太陽エネルギーを享受する効率を極めて大きくしている。

気象条件は一般的に温暖で、年平均気温17℃であり、黒潮暖流が日向灘を洗っている関係で、宮崎県の沿岸地域は本土における最温暖地帯となっており、青島には亜熱帯性植物群落が自生している。年平均降雨量は平野部で2,000mm前後、山地で2,500～3,000mmに達し、全国で屈指の水源地帯を

形成しており、植生の育成を助長している。また各河川にはダムが建設されており、水力発電による電力は他県へも供給している。農業については、冬季における日照時間は九州で最も長く、早出しそ菜の栽培が盛んである。ビニールハウス栽培も盛んで、きゅうり・トマト・ピーマン・すいか・かぼちゃ等が生産されている。樹園地は、かんきつ類が総栽培面積の80%を占め、中でも温州みかんが大部分であり沿海地域にオレンジベルト地帯を形成している。甘夏・日向夏・八朔・ポンカン等も近年栽培面積が増えつつある。山間地帯にはくりの適地が多く集団産地を育成している。茶は、気象条件が上質茶の生産に適しており、集団産地の形成化が進んでいる。養蚕は、2,752haの桑園面積を有し、生糸生産額は17億7千6百万円(S47年調べ)になっている。畜産は、昭和30年霧島地域が、昭和40年に尾鈴地域が集約酪農地域の指定を受け、県下に乳用牛27,300頭、肉用牛16,600頭、豚212,000頭(S47調べ)がいる。

林業については、県北部は生産性の低い天然生広葉樹林で、県南部は有名な鉄匠形を主体とする人工林が大部分である。県南部の人工林率78%に対して、県北部は55%の人工林率である。しいたけは生産日本一を目指しており入郷地区で主に生産されている。水産業としては、地形的に県北、県南は岩礁帯であり、中部は単調な砂浜帯の海岸線であるので、漁獲の対象となるのは主として回遊性の魚である。県北部の浅海利用によるハマチ養殖は今後の漁業として期待をもたれている。

工業は県北部に、ベンゼン・レーヨン・ナイロン・カシミロン・エステル・旭味・火薬・薬品・肥料等の総合化学工業がある。また、昭和39年度に日向延岡地区が新産業都市に指定され紡績糸・電解二酸化マンガン・精製糖・カーペット等の生産工場が立地している。県南部には豊富な森林資源をバックにパルプ工場がある。市街地としては、主に宮崎市・延岡市・都城市の三市に集中し商業もこの三市に集中しており、商店数では41%、従業者数では57%、商品販売額では71%を占めている。また宮崎県は観光県であり、海と山、空と水の大自然の中にあり、空はあくまで青くて明るく、海は暖色をたたえて反映し、天然の奇石、熱帯樹の島、雄大な霧島火山群あるいは奥地原始林の山岳地帯、また先史文化をしのぶ古墳や数多くの伝説、素朴な民謡などが詩情ゆたかに満ちあふれている。

4.1.1 北西部山間地域

県中、北部の東臼杵・児湯などの諸郡一帯を占める山地である。海拔1,000m以上の山稜が重畳し稀にみる深山幽谷地帯を現わしている。北部に祖母・傾山国定公園があり、高千穂町を中心に観光地となっている。しかし背梁地帯のため、交通は著しく阻害され、経済開発は渋滞している。この地方は林業を主としており、諸塚村を中心とする入郷地域は、しいたけ栽培、日之影町、椎葉村、須木村等は、くり生産が盛んである。また茶・桑は五ヶ瀬町、高千穂町で集団産地を形成している。日之影町から高千穂町、五ヶ瀬町を経て椎葉村に至る地帯は鉱物資源の宝庫となっている。

4.1.2 北部海岸地域

四十層群、尾鈴山酸性岩から成る屈曲に富んだ海岸線があり細島港は断層谷中にある水深の大きい良港であり、古来から海上交通の要衝であった。北川・祝子川・五ヶ瀬川各水系の表流水、地下水に恵まれ、背後に電源地帯を擁する延岡は、以前より化学工業都市として発達しているが、近年日向延岡地区新産業都市として日向市に近代工業地帯が誕生し、今後の開発が予想されている。市街地は延岡市・

日向市を中心とし、耕地は河川沿いにわずかに存する。北浦地域の海岸はリアス式であり風光明媚で海岸線が美しく近く日豊海岸国定公園の指定が予定されている。

4.1.3 宮崎平野地域

大淀川・一ツ瀬川・小丸川・清武川 の下流一帯にひろがる沖積平野と、これに広域な面積を有する台地、段丘平坦面および一部丘陵地帯などを含めて宮崎平野と総称する。この地域は冬期における温暖な気候のため、大型ビニールハウスによるトマト・きゅうり・ピーマン・かぼちゃ・メロンなどの栽培が盛んである。水田は河川沿いに存し、上流地域は追田になっている。また山すそに沿ってオレンジベルト地帯を形成しており、都農・川南・木城・西都・綾・国富・高岡まで伸びている。また、この地域は養蚕・茶等の栽培も盛んである。飛行場として、宮崎空港（宮崎市）、新田原航空自衛隊基地（新富町）があり、観光地として古噴の西都原（西都市）、日南海岸などがある。

4.1.4 南西部内陸地域

都城盆地・加久藤盆地・小林盆地・野尻盆地および霧島火山を含む地域を総称している。盆地群は第三紀の後半以後の陥没号の名残があり、シラスなどの火山噴出物によって広くおおわれて丘阜ないし段丘状の地形を呈している所が多い。川内川に沿っては沖積平野が発達し、宮崎県の穀倉地帯といわれている。この地域の特徴は、霧島火山や鹿児島湾の始良火山による噴出物であり、とくに厚いシラスとローム層は本地域のほとんど全域をおおい、比較的厳しい内陸性気候とともに、日南海岸以北の平坦部と趣を異にする風土を形成している。

耕地は大淀川上流沿いの都城盆地と川内川上流沿いの平野にあり水田と畑が主であるが、養蚕や茶の栽培も小規模ながら行なわれている。霧島山麓地帯は宮崎県の酪農地帯であり矢岳・御池・西岳等の牧場がある。

観光地としては、霧島屋久国立公園があり、えびの高原は九州では最も高いところにある温泉郷であり、近代のかつ大衆的なレクリエーションの場として知名である。

4.1.5 南那珂山間地域

南那珂郡一円から宮崎・北諸県両郡の一部に及ぶ山地である。古第三紀の地層から構成されており複雑な地質構造を示しており、油津の良港・鶴戸海岸の名勝・日南海岸の鬼の洗濯岩・加江田川の垂直的な峡谷美を形成している。気候は、高温多湿で泥質岩上に発達した厚い土壤に恵まれており、人工林率78%と高く鉄肥杉の産地となっている。日南市広渡川、串間市の福島川沿いの平野が耕地として利用されており、米作中心である。また、この地域のなだらかな山腹は日南みかんの産地となっている。工業としては日南市に豊かな森林資源をバックにパルプ工場がある。漁業は油津港を基地とする遠洋漁業も盛んである。

（宮崎県企画調整室 安部 大師郎）

4.2 土地利用可能性分級の地域別の概要

4.2.1 北西部山間地域

北西部山間地域は、大きく北部と西部地区に分けられる。北部地区では、祖母・傾山山系は1,600 m以上の高山が連なり、標高400 m以上の山間地帯と高冷地帯からなっている。傾斜は、S5で5類地が主となり、檜山・国見山一帯は傾斜もS6となって7類地が多く特徴的である。

山地土壌は、P3～P4の乾性褐色森林土壌とP2の褐色森林土壌で占めている。西部地区では、国見岳・銚子笠山系が市房山山系に連り、九州山脈の主稜をなしている。この山系から種々の稜線が東部に走り、標高400 m以上の山間地帯と1,300 m以上の高冷地帯からなっている。傾斜もS5を主とした5類地が圧倒的に多く、主稜である国見岳・市房山・支尾根にあたる掃部岩周辺はS6となって7類地を形成している。

山地土壌は、P3～P4の乾性褐色森林土壌、中・下腹部では、P1～P2の褐色森林土壌が占めている。また、緩漫な稜線部には、P2～P3の黒ボク土壌が散在し、4類地である。

4.2.2 北部海岸地域

県北部のうち、日向灘に面した区域で標高600 m以下を主とした低暖地であるが、典型的な日向山地の諸峯から連なる諸々稜線が海浜まで迫り、山地における傾斜はほとんどS5の30～40°をしめし5類地が多い。

山地における土壌は、褐色森林土壌が広範囲をしめし、P4の乾性褐色森林土壌（黄褐色）、P2の褐色森林土壌（黄褐色）が大部分をしめる。なお、海浜の急傾斜地帯・岬・離島は、P5の残積性赤熟土壌で6類地が多く、また、急傾斜地の一部ではS6の7類地も介在する。

平坦では、灰色低地土壌、褐色低地土壌、主となりP2～P3に区分され2～3類地をなしている。

4.2.3 宮崎平野地域

県中央部の日向灘に面した区域で全域が、標高400 m以下の低暖地帯である。山地での傾斜はS4の15～30°、4類地が大部分を占めている。また、土壌はP2乾性褐色森林土（黄褐色）P4の乾性褐色森林土壌（黄褐色）で4類地が圧倒的に広く、次いで5類地である。東部の海岸部では、海岸線に沿って帯状にP4砂丘赤熟土壌が分布し、4類地を形成している。

畑地では、P3の黒ボク土がほとんどで3類地をなしている。水田では、P2の灰色低地土が多く、2類地が大部分を占め、局部的にP2～P3のグライ土で、2類地および3類地が分布している。

4.2.4 南西部内陸地域

南西部内陸地域は、大別して2地区に分けられる。すなわち、西北諸県盆地と霧島山地である。西北諸県盆地は、霧島山地の山麓標高400 m以下の低暖地帯である。霧島山地は、韓国岳・高千穂峰等、1,500 m以上の高山が連り、標高400 m以上の山間地帯と1,300 m以上の高冷地帯からなっている。低暖地帯の傾斜は、S4で4類地が主となり、山地土壌は、P3～P4の黒ボク土壌で4類地である。また、韓国岳・高千穂峰の稜線は、傾斜もS5を主とした6類地が多く、土壌は粗粒火山抛物体未

熟土，粗粒風化火山抛 出物未熟土で6 類地及び7 類地である。

農地土壤は，標高400 m以下で，傾斜はS1～S3である。P3の黒ボク土壤，粗粒黒ボク土壤，粗粒灰色低地土壤等は3 類地に区分され，またP2の厚層黒ボク土壤，多湿黒ボク土壤，灰色低地土壤等は，2 類地に区分される。

4.2.5 南那珂山間地域

南那珂山間地域は大別して3 地区に分けられる。すなわち，1.日南海岸地区，2.北西部の山岳地区，3.中南部低山地区である。日南地区では，後背山地が海浜に迫り，傾斜S5を主とした5 類地が圧倒的に多く，突出部および離島は残積性未熟土壤で占められ，その大部分は6 類地を形成し，特徴的である。したがって，土壤も山地では谷筋の凹斜面下部にP2がみられるほかP3・P4・P5の面積がかなり多い。北西部山岳地区では，標高400 m以上の山間地帯が約半数を占め，傾斜も上部がS5，中下部でS4となって5 類地と4 類地が相半ばしている地区である。山地土壤は，中下腹部でP1～P2の褐色森林土壤が大部分をしめ，斜面上部ではP2の黒ボク土壤，P3の乾性褐色森林土壤および淡色黒ボク土壤となっていてところが多く，2～3 類地に区分される。

中南部低山地区では，標高400 m以下の低暖地帯で傾斜はS4（15～30°）の4 類地が大部分を占めている。山地土壤はP1～P2の褐色森林土が約半数を占め，残りはP2の黒ボク土壤，P3の乾性褐色森林土壤および淡色黒ボク土壤で占められ2～3 類地をなしている。

農地は傾斜S1～S2であるP2の細粒灰色低地土壤，灰色低地土壤，グライ土壤が分布し，2 類地に区分される。またP3の黒ボク土壤，粗粒灰色低地土壤等が分布し，3 類地として区分される。P4の粗粒グライ土壤は4 類地として区分される。

（宮崎県林業試験場 家 入 忠）
（宮崎県総合農業試験場 河 野 満 雄）

B 統 計 の 部

1. 土地利用現況

1-1 土地利用現況別面積市町村別内訳

区 分 市 町 村	農 地										草 地				
	田				畑						農 地 計	利用草地			未 利 用 地 (原 野 草 地)
	普通田		特 殊 田	計	普 通 畑	牧 草 畑	樹 園 地			永 年 収 草 地		自 然 草 地	計		
	一 毛 田	二 毛 田					果 樹 園	桑園・ 茶 園・ その他	計						
総 計	326	120	0	446	231	23	58	32	90	844	—	44	44	231	
宮 崎 市	34	7	0	41	13	0	5	0	5	59	0	0	0	6	
都 城 市	33	9	0	42	38	7	0	2	2	89	—	1	1	15	
延 岡 市	10	6	—	16	6	0	2	0	2	24	—	0	0	16	
日 南 市	13	4	0	17	4	0	5	1	6	27	—	0	0	—	
小 林 市	11	6	0	17	22	6	1	1	2	47	—	2	2	11	
日 向 市	8	1	0	9	4	0	1	0	1	14	—	0	0	1	
串 間 市	15	6	0	21	10	1	2	1	3	35	—	0	0	31	
西 都 市	20	10	—	30	12	2	3	3	6	50	0	1	1	8	
えびの市	15	12	—	27	14	2	1	1	2	45	0	2	2	11	
市 部 計	159	61	0	220	123	18	20	9	29	390	0	6	6	99	
清 武 町	4	3	0	7	4	0	2	0	2	13	0	0	0	1	
田 野 町	4	2	—	6	6	0	1	1	2	14	0	0	0	2	
佐 土 原 町	12	2	—	14	5	0	1	0	1	20	0	1	1	0	
宮 崎 郡 計	20	7	0	27	15	0	4	1	5	47	0	1	1	3	
北 郷 町	3	2	0	5	1	0	1	1	2	8	0	0	0	2	
南 郷 町	4	1	—	5	1	0	3	0	3	9	0	0	0	3	
南 那 珂 郡 計	7	3	0	10	2	0	4	1	5	17	0	0	0	5	
三 股 町	7	2	0	9	6	1	1	1	2	18	0	0	0	11	
山 之 口 町	4	1	—	5	3	1	0	1	1	10	0	0	0	3	
高 城 町	7	3	—	10	10	0	0	1	1	21	0	0	0	7	
山 田 町	4	2	—	6	8	1	0	1	1	16	0	0	0	2	
高 崎 町	8	3	—	11	9	2	1	1	2	24	0	0	0	11	
北 諸 郡 計	30	11	0	41	36	5	2	5	7	89	0	0	0	34	
高 原 町	7	2	0	9	11	2	0	1	1	23	0	2	2	7	

草 地 計	林 地											宅 地	公 共 用 地 そ の 他	合 計	備 考
	人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林	林 地				
	針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 草 放 牧 に 利 用 し て い る 土 地	そ の 他	計						
275	3,294	107	3,401	89	2,076	2,165	—	69	69	52	5,687	110	818	7,734	
6	97	0	97	3	37	40	—	4	4	1	142	15	64	286	
16	101	4	105	1	29	30	—	1	1	2	138	15	49	307	
16	98	2	100	8	80	88	—	4	4	1	193	9	45	287	
0	187	0	187	0	29	29	—	3	3	3	222	5	41	295	
13	75	1	76	17	39	56	—	4	4	2	138	5	28	231	
1	40	1	41	1	27	28	—	0	0	0	69	5	29	118	
31	173	4	177	0	34	34	—	2	2	2	215	4	10	295	
9	157	2	159	4	159	163	—	4	4	4	330	5	43	437	
13	110	0	110	6	46	52	—	3	3	8	168	5	52	283	
105	1,038	14	152	40	480	520	—	25	25	18	1,615	68	361	2,539	
1	18	0	18	0	4	4	—	0	0	0	22	1	11	48	
2	62	0	62	0	14	14	—	1	1	0	77	1	15	109	
1	10	—	10	0	7	7	—	0	0	1	18	3	15	57	
4	90	0	90	0	25	25	—	1	1	1	117	5	41	214	
2	121	1	22	0	30	30	—	0	0	0	152	1	16	179	
3	32	0	32	—	6	6	—	0	0	1	39	1	12	64	
5	153	1	54	0	36	36	—	0	0	1	191	2	28	243	
11	53	0	53	1	19	20	—	0	0	0	73	2	6	110	
3	55	0	55	0	19	19	—	1	1	0	75	1	9	98	
7	39	0	39	0	15	15	—	0	0	0	54	2	10	94	
2	28	2	30	0	4	4	—	0	0	0	34	1	8	61	
11	32	0	32	0	15	15	—	1	1	1	49	2	7	93	
34	207	2	209	1	72	73	—	2	2	1	285	8	40	456	
9	23	2	25	0	13	13	—	2	2	1	41	2	10	85	

区 分 市 町 村	農 地										草 地				
	田				畑						農 地 計	利用草地			未 利 用 地 (原 野 草 地)
	普通田		特 殊 田	計	普 通 田	牧 草 畑	計			永 年 収 草 地		自 然 草 地	計		
	一 毛 田	二 毛 田					果 樹 園	桑 園 ・ 茶 園 ・ 他	計						
野尻町	5	2	—	7	10	2	0	2	2	21	0	1	1	6	
須木村	2	1	0	3	1	0	2	1	3	7	0	0	0	3	
西諸県郡計	14	5	0	19	22	4	2	4	6	51	0	3	3	16	
高岡町	7	2	—	9	3	0	6	0	6	18	0	1	1	—	
国富町	14	5	0	19	7	1	2	1	3	30	—	0	0	6	
綾町	3	2	—	5	2	0	3	1	4	11	—	0	0	0	
東諸県郡計	24	9	0	33	12	1	11	2	13	59	0	1	1	6	
高鍋町	6	1	0	7	8	0	1	0	1	16	—	0	0	1	
新富町	9	3	0	2	9	1	1	1	2	24	—	1	1	2	
西米良村	1	0	—	1	0	0	0	0	0	1	—	0	0	0	
木城町	4	1	—	5	5	0	0	1	1	11	—	0	0	2	
川南町	8	4	—	2	14	2	5	1	6	34	—	1	1	2	
都農町	3	3	—	6	5	1	4	1	5	17	—	1	1	7	
児湯郡計	31	12	0	43	41	4	11	4	15	103	—	3	3	14	
門川町	4	1	0	5	2	0	1	0	1	8	—	0	0	2	
東郷町	5	1	—	6	2	0	1	1	2	10	—	0	0	4	
南郷町	3	0	—	3	1	0	0	0	0	4	—	0	0	1	
西郷村	3	1	—	4	1	0	0	1	1	6	—	1	1	4	
北郷村	2	1	—	3	1	0	0	0	0	4	—	0	0	1	
北方町	3	1	—	4	2	0	1	0	1	7	—	1	1	3	
北川町	2	1	0	3	1	0	0	1	1	5	—	0	0	4	
北浦町	2	0	—	2	1	0	0	0	0	3	—	0	0	3	
諸塚村	1	0	—	1	1	0	0	0	0	2	—	1	1	1	
椎葉村	2	0	—	2	2	0	0	0	0	4	—	2	2	0	
東臼杵郡計	27	6	0	33	14	0	3	3	6	53	—	5	5	23	
高千穂町	7	4	0	11	7	0	0	2	2	20	—	14	14	18	

草 地 計	林 地										宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計	備 考	
	人 工 林			天 然 林			未 立 木 地			竹 林					林 地
	針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	採 用 し て い る 土 地 利 用 に 利 用 さ れ て い る 土 地	そ の 他	計						
7	28	1	29	1	15	16	—	0	0	1	46	1	13	88	
3	21	2	123	1	97	98	—	3	3	1	225	0	9	244	
19	172	5	177	2	125	127	—	5	5	3	312	3	32	417	
1	71	0	71	0	28	28	—	1	1	2	102	2	22	145	
6	42	0	42	0	29	29	—	1	1	2	74	3	17	130	
0	48	0	48	1	32	33	—	1	1	1	83	1	0	95	
7	161	0	161	1	89	90	—	3	3	5	259	6	39	370	
1	6	0	6	1	0	1	—	1	1	0	8	2	16	43	
3	11	—	11	0	2	2	—	0	0	0	13	2	19	61	
0	122	3	125	1	132	133	—	1	1	2	261	0	10	272	
2	56	0	56	2	43	45	—	16	16	0	117	1	14	145	
3	28	0	28	3	3	6	—	0	0	1	35	2	16	90	
8	43	2	45	1	16	17	—	1	1	0	63	1	14	103	
17	266	5	271	8	196	204	—	19	19	3	497	8	89	714	
2	42	4	46	3	47	50	—	0	0	0	96	1	12	119	
4	104	6	110	2	74	76	—	0	0	0	186	1	18	219	
1	104	3	107	3	61	64	—	1	1	0	172	0	13	190	
5	65	10	75	2	43	45	—	0	0	1	121	1	6	139	
1	52	5	57	4	48	52	—	0	0	1	110	0	6	121	
4	82	7	89	4	77	81	—	3	3	2	175	1	14	201	
4	126	2	128	4	124	128	—	2	2	0	258	1	12	280	
3	41	2	43	1	35	36	—	0	0	0	79	0	15	100	
2	99	15	114	3	56	59	—	0	0	1	174	0	10	188	
2	199	10	209	5	253	258	—	4	4	6	477	1	53	537	
28	914	64	978	31	818	849	—	10	10	11	1,848	6	159	2,094	
32	91	5	96	1	70	71	—	1	1	4	172	2	12	238	

区 分 市 町 村	農 地										草 地				
	田				畑						農 地 計	利用草地			未 利 用 地 (原 野 草 地)
	普通田		特 殊 田	計	普 通 田	牧 草 畑	樹 園 地			永 年 収 草 地		自 然 草 地	計		
	一 毛 田	二 毛 田					果 樹 園	桑園・ 茶 ・ その他	計						
日之影町	3	2	0	5	2	0	1	0	1	8	—	5	5	5	
五ヶ瀬町	4	0	—	4	2	0	0	1	1	7	—	6	6	8	
西臼杵郡計	14	6	0	20	11	0	1	3	4	35	—	25	25	31	
郡部計	167	59	0	226	153	14	38	23	61	454	—	38	38	132	

1-2 D.I.D. おおむね 10 万人以上の都市の土地利用現況の内訳

区 分 市 名	市 街 地 の 内 訳								
	商 業 区	工 業 区			住 宅 区	そ の 他			
		重 工 業 区	軽 工 業 区	計		漁 業 区	運 輸 区	公 共 区	計
宮崎市	3	1	4	5	28	0	0	2	2
延岡市	1	1	2	3	18	0	0	1	1
都城市	1	—	5	5	16	0	0	0	0

(注) 各市役所の統計資料による。

草 地 計	林 地											宅 地	公 共 用 地 ・ そ の 他	合 計	備 考
	人 工 林			天 然 林			採 用 して いる 土 地 採 草 放 牧 に 利 地			竹 林	林 地				
	針 葉 樹	広 葉 樹	計	針 葉 樹	広 葉 樹	計	そ の 他	計							
10	107	7	114	4	125	129	—	2	2	3	248	1	11	278	
14	95	4	99	1	40	41	—	1	1	2	143	1	6	171	
56	293	16	309	6	235	241	—	4	4	9	563	4	29	687	
170	2256	93	2349	49	1,596	1,645	—	44	44	34	4,072	42	457	5,195	

(単位: ㎡)

市 街 地 計	市 街 地 外 の 内 訳							合 計	備 考
	農 地	草 地	林 地	宅 地	公 共 用 地	そ の 他	計		
38	52	6	142	8	10	30	248	286	
23	32	1	193	2	15	21	264	287	
23	91	5	150	8	28	2	284	307	

2. 自然的土地条件

2-1 傾斜区分別面積市町村別内訳

区分 市町村	0°~3°	3°~8°	8°~ 15°	15°~ 20°	20°~ 30°	30°~ 40°	40°~	合計	備考
県計	1,463	154	234	318	1,981	3,224	360	7,734	
宮崎市	140	2	9	19	76	40	—	286	
都城市	122	19	22	22	77	25	—	307	
延岡市	72	—	2	1	40	150	22	287	
日南市	51	0	4	29	99	110	2	295	
小林市	56	32	29	10	59	45	—	231	
日向市	37	—	0	6	55	20	—	118	
串間市	77	12	6	17	86	97	—	295	
西都市	87	8	8	8	58	220	48	437	
えびの市	61	23	39	29	59	70	2	283	
市計	723	96	119	141	609	777	74	2,539	
清武町	21	1	4	9	13	0	—	48	
田野町	24	4	7	11	47	16	—	109	
佐土原町	37	2	3	1	14	—	—	57	
宮崎郡計	82	7	14	21	74	16	—	214	
北郷町	13	0	0	13	93	58	2	179	
南郷町	12	—	—	6	28	18	—	64	
南那珂郡計	25	0	0	19	121	76	2	243	
三股町	25	3	3	2	31	38	8	110	
山之口町	18	0	1	4	47	28	—	98	
高城町	41	—	4	3	42	4	—	94	
山田町	26	6	4	5	16	4	—	61	
高崎町	48	3	13	2	21	6	—	93	
北諸県郡計	158	12	25	16	157	80	8	456	
高原町	38	11	13	5	14	4	—	61	
野尻町	36	6	9	3	19	15	—	88	
須木村	9	—	2	0	47	160	26	244	
西諸県郡計	83	17	24	8	80	179	26	417	

区分 市町村	0°~3°	3°~8°	8°~ 15°	15°~ 20°	20°~ 30°	30°~ 40°	40°~	合計	備考
	高岡町	32	2	10	8	67	25	1	145
国富町	56	2	9	5	18	36	4	130	
綾町	17	1	6	2	12	51	6	95	
東諸県郡計	105	5	25	15	97	112	11	370	
高鍋町	36	2	2	—	3	—	—	43	
新富町	49	3	4	1	4	—	—	61	
西米良町	4	—	—	—	43	199	26	272	
木城町	16	2	1	9	27	81	9	145	
川南町	51	6	5	8	11	9	—	90	
都農町	24	2	1	11	35	29	1	103	
児湯郡計	180	15	13	29	123	318	36	714	
門川町	18	—	—	0	28	70	3	119	
東郷町	19	—	4	10	72	104	10	219	
南郷村	11	—	—	1	47	123	8	190	
西郷村	8	—	0	6	38	77	10	139	
北郷村	7	—	—	0	51	61	2	121	
北方町	10	1	2	5	48	04	31	201	
北川町	14	—	—	2	35	99	30	280	
北浦町	2	—	0	—	22	74	2	100	
諸塚村	1	—	—	1	54	122	10	188	
椎葉村	5	—	2	4	124	354	48	537	
東臼杵郡計	95	1	8	29	519	1,288	154	2,094	
高千穂町	4	—	2	23	75	125	9	238	
日之影町	3	—	2	6	65	164	38	278	
五ヶ瀬町	5	1	2	11	61	89	2	171	
西臼杵郡計	12	1	6	40	201	378	49	687	
町村計	740	58	115	177	1,372	2,447	686	5,195	

2-2 標高別面積市町村別内訳

区分 市町村	0m~	100m~	200m~	400m~	600m~	800m~	1,000 ^m ~	1,500 ^m ~	合計	備考
	100m	200m	400m	600m	800m	1,000m	1,500m			
県計	1,565	1,166	1,874	1,195	890	539	491	14	7,734	
宮崎市	219	25	30	10	2	—	—	—	286	
都城市	—	151	87	48	14	4	3	—	307	
延岡市	124	53	87	18	3	2	—	—	287	
日南市	119	57	69	38	12	—	—	—	295	
小林市	—	23	111	44	23	11	9	0	231	
日向市	74	26	17	1	—	—	—	—	118	
串間市	133	80	63	16	3	—	—	—	295	
西都市	143	39	91	69	59	30	6	—	437	
えびの市	—	—	123	65	64	16	5	0	283	
市計	812	454	678	309	180	63	43	0	2,539	
清武町	34	6	5	3	0	—	—	—	48	
田野町	5	30	49	17	6	2	0	—	109	
佐土原町	57	—	—	—	—	—	—	—	57	
宮崎郡計	96	36	54	20	6	2	0	0	214	
北郷町	17	21	68	48	20	5	0	—	179	
南郷町	39	16	8	1	—	—	—	—	64	
南那珂郡計	56	37	76	49	20	5	0	0	243	
三股町	—	22	40	25	17	6	0	—	110	
山之口町	—	20	65	10	3	0	—	—	98	
高城町	3	61	30	—	—	—	—	—	94	
山田町	—	30	30	1	—	—	—	—	61	
高崎町	2	69	22	—	—	—	—	—	93	
北諸県郡計	5	202	187	36	20	6	0	0	456	
高原町	—	29	38	7	5	3	3	0	85	
野尻町	—	57	27	4	—	—	—	—	88	
須木村	—	—	46	122	67	8	1	—	244	
西諸県郡計	0	86	111	133	72	11	4	0	417	

区分 市町村	0m ~	100m ~	200m ~	400m ~	600m ~	800m ~	1,000 ^m ~	1,500 ^m ~	合計	備考
	100m	200m	400m	600m	800m	1,000m	1,500m			
高岡町	68	42	34	1	—	—	—	—	145	
国富町	76	16	14	11	7	4	2	—	130	
綾町	22	11	35	15	9	3	0	—	95	
東諸郡計	166	69	83	27	16	7	2	0	370	
		3								
高鍋町	40	3	—	—	—	—	—	—	43	
新富町	59	2	—	—	—	—	—	—	61	
西米良郡	—	11	42	64	81	55	19	0	272	
木城町	33	18	37	24	20	10	3	—	145	
川南町	57	10	11	7	4	1	—	—	90	
都農町	32	13	17	12	12	9	8	—	103	
児湯郡計	221	57	107	107	117	75	30	0	714	
門川町	42	33	38	6	0	—	—	—	119	
東郷町	45	39	72	35	18	7	3	—	219	
南郷村	—	—	51	59	42	22	16	—	190	
西郷村	12	23	45	32	19	7	1	—	139	
北郷村	7	31	42	24	12	5	0	—	121	
北方町	28	20	43	39	30	19	22	0	201	
北川町	49	36	110	32	16	15	22	0	280	
北浦町	24	22	41	13	—	—	—	—	100	
諸塚村	—	6	37	41	52	36	16	—	188	
椎葉村	—	—	8	68	105	139	208	9	537	
東臼杵郡計	207	210	487	349	294	250	288	9	2,094	
高千穂町	—	1	38	73	51	35	37	3	238	
日之影町	2	14	52	67	59	39	44	1	278	
五ヶ瀬町	—	—	1	25	55	46	43	1	171	
西臼杵郡計	2	15	91	165	165	120	124	5	687	
町村計	753	712	1,196	886	710	476	448	14	5,195	

2-3 地形区分別面積市町村別内訳

区分 市町村名	山 地					火 山 地					丘 陵 地			
	大 起 伏	中 起 伏	小 起 伏	山 麓 地	計	大 起 伏	中 起 伏	小 起 伏	山 麓 地	計	砂 礫 性	岩 石 性	火 碎 岩 性	シ ラ ス 性
計	1,498	1,760	1,411	676	5,345	25	66	117	63	271	59	273	207	93
宮崎市	—	12	54	21	87	—	—	—	—	—	—	67	—	—
都城	—	21	38	25	84	3	4	22	3	32	—	—	—	23
延岡	21	45	88	72	226	—	—	—	—	—	—	—	3	—
日南	8	77	77	77	239	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小林	—	14	33	—	47	15	21	8	27	71	—	—	29	1
日向	—	—	43	40	83	—	—	—	—	—	—	—	—	—
串間	3	51	135	42	231	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西都	106	135	61	1	303	—	—	—	—	—	—	53	1	—
えびの	—	19	31	2	52	3	32	66	29	130	—	—	19	15
市部計	138	374	560	280	1,352	21	57	96	59	233	—	120	52	39
清武町	—	3	4	3	10	—	—	—	—	—	4	14	—	—
田野町	7	19	20	18	64	—	—	—	—	—	6	3	—	—
佐土原町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	—	—
宮崎郡計	7	22	24	21	74	—	—	—	—	—	10	37	—	—
北郷町	19	79	54	13	165	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南郷町	4	1	29	18	52	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南那珂郡計	23	80	83	31	217	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三股町	—	48	24	3	75	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山之口町	—	7	15	57	79	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高城町	—	—	8	40	48	—	—	—	—	—	—	—	—	5
山田町	—	—	6	3	9	—	—	8	—	8	—	—	—	12
高崎町	—	—	4	27	31	—	—	5	—	5	—	—	—	9
北諸県郡計	—	55	57	130	242	—	—	13	—	13	—	—	—	26
高原町	—	—	—	7	7	4	9	8	4	25	—	—	—	5
野尻町	—	4	15	13	32	—	—	—	—	—	3	1	—	17
須木村	44	82	95	—	221	—	—	—	—	—	—	—	12	4

計	台 地 ・ 段 丘								低 地				崩 壊 性 低 地	合 計	備 考
	上礫 位段 砂丘	中礫 位段 砂丘	下礫 位段 砂丘	小 計	上 位 シ ラ 地	中 位 シ ラ 地	小 計	計	氾 性 濫 低 原 地	自 及 然 堤 砂 防 丘	干 拓	計			
632	18	129	251	398	209	125	334	732	646	48	12	706	48	7,734	
67	—	1	5	6	3	—	3	9	99	4	—	123	—	286	
23	1	—	34	35	15	58	73	108	58	—	—	58	2	307	
3	—	—	1	1	—	—	—	1	51	3	—	54	3	287	
—	—	—	3	3	10	—	10	13	41	1	—	42	1	295	
30	—	4	20	24	33	13	46	70	13	—	—	13	—	231	
—	1	5	3	9	—	—	—	9	17	5	2	24	2	118	
—	—	—	2	2	19	5	24	26	34	2	—	36	2	295	
54	6	11	13	30	—	9	—	30	50	—	—	50	—	437	
34	—	—	18	18	12	5	17	35	31	—	—	31	1	283	
211	8	21	99	128	92	81	173	301	394	35	2	431	11	2,539	
18	—	0	6	6	5	—	5	11	9	—	—	9	—	48	
9	1	3	12	16	12	—	12	28	8	—	—	8	—	109	
20	—	3	2	5	1	—	11	6	21	—	10	31	—	57	
47	1	6	20	27	18	—	18	45	38	—	10	48	—	214	
—	—	—	11	11	2	1	3	14	—	—	—	—	—	179	
—	0	—	—	0	2	—	2	2	10	—	—	10	—	64	
—	0	—	11	11	4	1	5	16	10	—	—	10	—	243	
—	—	—	22	22	6	—	6	28	7	—	—	7	—	110	
—	—	—	9	9	3	—	3	12	7	—	—	7	—	98	
5	—	—	8	8	11	6	17	25	16	—	—	16	0	94	
12	—	—	7	7	13	8	21	28	4	—	—	4	—	61	
9	—	—	8	8	6	21	27	35	13	—	—	13	—	93	
26	—	—	54	54	39	35	74	128	47	—	—	47	0	456	
5	—	8	7	15	18	5	23	38	10	—	—	10	—	85	
21	—	0	3	3	24	3	27	30	2	—	—	2	3	88	
16	—	—	3	3	1	—	1	4	2	—	—	2	1	244	

区 分 市町村名	山 地					火 山 地					丘 陵 地			
	大 起 伏	中 起 伏	小 起 伏	山 麓 地	計	大 起 伏	中 起 伏	小 起 伏	山 麓 地	計	砂 礫 性	岩 石 性	火 砕 岩 性	シ ラ ス 性
西諸県郡計	44	86	110	20	260	4	9	8	4	25	3	1	12	26
高岡町	—	—	24	29	53	—	—	—	—	—	0	33	—	1
国富町	19	12	13	—	44	—	—	—	—	—	—	38	—	—
綾町	32	14	10	1	57	—	—	—	—	—	6	6	—	1
東諸県郡計	51	26	47	30	154	—	—	—	—	—	46	77	—	2
高鍋町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11	—	—
新富町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	—	—
西米良村	103	155	14	—	272	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木城町	52	37	27	2	118	—	—	—	—	—	—	10	—	—
川南町	1	14	7	7	29	—	—	—	—	—	—	3	—	—
都農町	24	21	23	4	72	—	—	—	—	—	—	—	—	—
児湯郡計	180	227	71	13	491	—	—	—	—	—	—	38	—	—
門川町	—	17	66	24	107	—	—	—	—	—	—	—	1	—
東郷町	36	58	74	32	200	—	—	—	—	—	—	—	4	—
南郷村	68	66	45	3	182	—	—	—	—	—	—	—	2	—
西郷村	71	24	21	13	129	—	—	—	—	—	—	—	7	—
北郷村	12	37	23	44	116	—	—	—	—	—	—	—	1	—
北方町	74	75	20	15	184	—	—	—	—	—	—	—	10	—
北川村	53	138	69	11	271	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北浦町	—	35	61	0	96	—	—	—	—	—	—	—	—	—
諸塚村	102	79	2	1	184	—	—	—	—	—	—	—	4	—
椎葉村	404	119	10	2	535	—	—	—	—	—	—	—	1	—
東臼杵郡計	820	648	391	145	2004	—	—	—	—	—	—	—	30	—
高千穂町	61	81	25	—	167	—	—	—	—	—	—	—	58	—
日之影町	48	87	13	1	249	—	—	—	—	—	—	—	26	—
五ヶ瀬町	126	74	30	5	135	—	—	—	—	—	—	—	29	—
東臼杵郡計	235	242	68	6	551	—	—	—	—	—	—	—	113	—
郡部計	1,360	1,386	851	396	3,993	4	9	21	4	38	59	153	155	54

計	台 地 ・ 段 丘								低 地				崩 壊 性 低 地	合 計	備 考
	上 段 砂 丘	中 段 砂 丘	下 段 砂 丘	小 計	上 位 台 地	中 位 台 地	小 計	計	汎 性 低 地	自 然 堤 防 砂 丘	干 拓	計			
42	—	8	13	21	43	8	51	72	14	—	—	14	4	417	
64	1	—	3	4	8	—	8	12	15	—	—	15	1	145	
38	—	10	11	21	4	—	4	25	23	—	—	23	0	130	
23	1	—	5	6	1	—	1	7	8	—	—	8	0	95	
125	2	10	19	31	13	—	13	44	46	—	—	46	1	370	
11	2	12	1	15	—	—	—	15	14	3	—	17	—	43	
14	1	20	—	21	—	—	—	21	19	7	—	26	—	61	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	272	
10	4	2	2	8	—	—	—	8	7	—	—	7	2	145	
3	—	38	13	51	—	—	—	51	4	2	—	6	1	90	
—	—	12	8	20	—	—	—	20	9	1	—	10	1	103	
38	7	84	24	115	—	—	—	115	53	13	—	66	4	714	
1	—	—	0	0	—	—	—	0	8	—	—	8	3	119	
4	—	—	4	4	—	—	—	4	4	—	—	4	7	219	
2	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—	—	5	1	190	
7	—	—	1	1	—	—	—	1	2	0	—	2	—	139	
1	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	4	—	121	
10	—	—	1	1	—	—	—	1	4	—	—	4	2	201	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	—	9	0	280	
—	—	0	—	0	—	—	—	0	4	—	—	4	0	100	
4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	188	
1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	537	
30	—	—	6	6	—	—	—	6	40	—	—	40	14	2094	
58	—	—	2	2	—	—	—	2	2	—	—	2	9	238	
26	—	—	1	1	—	—	—	1	0	—	—	0	2	278	
29	—	—	2	2	—	—	—	2	2	—	—	2	3	171	
113	—	—	5	5	—	—	—	5	4	—	—	4	14	687	
421	10	108	152	270	117	44	161	431	252	13	10	275	37	5,195	

2-4 表層地質分布面積市町村別内訳

区 分 市町村	沖 積 層				洪 積 層					泥 岩
	泥	砂	礫 砂 泥	計	段 丘 砂 礫	二 シ ラ ス 次	高 段 丘 位 礫	礫 流 ・ 軽 石 泥	計	
県 計	21	43	651	715	428	121	24	36	609	166
宮 崎 市	13	22	86	121	7	—	—	—	7	23
都 城 市	—	—	56	56	48	56	—	—	104	—
延 岡 市	2	3	50	55	2	—	—	—	2	—
日 南 市	—	—	43	43	3	—	—	—	3	10
小 林 市	—	—	12	12	26	13	—	—	39	—
日 向 市	3	4	19	26	9	—	—	—	9	—
串 間 市	—	—	39	39	2	5	1	—	8	—
西 都 市	—	—	44	44	34	—	—	—	34	31
え び の 市	—	—	—	—	26	7	—	19	52	—
市 計	18	29	349	396	157	81	1	19	258	64
清 武 町	—	—	9	9	6	—	1	—	7	2
田 野 町	—	—	9	9	19	—	3	—	22	1
佐 土 原 町	2	7	23	32	5	—	—	—	5	10
宮 崎 郡 計	2	7	41	50	30	—	4	—	34	13
北 郷 町	—	—	7	7	4	—	—	—	4	13
南 郷 町	—	—	10	10	—	—	—	—	—	—
南 那 珂 郡 計	—	—	17	17	4	—	—	—	4	13
三 股 町	—	—	7	7	19	—	—	—	19	—
山 之 口 町	—	—	8	8	9	—	—	—	9	—
高 城 町	—	—	14	14	9	6	—	1	16	—
山 田 町	—	—	6	6	8	8	—	—	16	—
高 崎 町	—	—	14	4	9	19	—	1	29	—
北 諸 郡 計	—	—	49	49	54	33	—	2	89	—
高 原 町	—	—	13	13	14	5	—	—	19	—
野 尻 町	—	—	2	2	4	2	2	4	12	—
須 木 村	—	—	—	—	1	—	—	—	1	—
西 諸 郡 計	—	—	15	15	19	7	2	4	32	—

新 第 三 紀 層				四 万 十 帯						
砂泥互 岩岩層	砂 岩	礫 岩	計	頁な頁 岩互 優層岩	砂勢層 岩な砂 優互岩	粘 千 板 枚 岩 岩	粘 砂 板 岩 質 岩	粘 石ズ 板 英を レ含 岩ンむ	砂互頁 岩層岩	計
225	145	19	555	892	566	916	354	133	1,178	4,039
86	38	3	50	5	—	—	—	—	—	5
—	—	—	—	15	26	—	—	—	9	50
—	—	—	—	53	23	68	67	7	—	218
67	3	—	80	98	60	—	—	—	—	158
—	—	—	—	—	—	—	—	—	45	45
—	—	—	—	17	18	—	—	—	—	35
—	—	—	—	122	107	—	—	—	—	229
6	13	5	55	—	—	—	—	3	297	300
—	—	—	—	—	—	—	—	—	59	59
159	54	8	285	310	234	68	67	10	410	1,099
12	4	—	18	0	9	—	—	—	—	9
1	4	1	7	17	42	—	—	—	—	59
6	3	—	19	—	—	—	—	—	—	—
19	11	1	44	17	51	—	—	—	—	68
17	20	0	50	40	76	—	—	—	—	116
—	—	1	1	32	19	—	—	—	—	51
17	20	1	51	72	95	—	—	—	—	167
—	—	—	—	28	49	—	—	—	—	77
—	—	—	—	57	18	—	—	—	—	75
—	—	—	—	19	—	—	—	—	30	49
—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8
—	—	—	—	0	—	—	—	—	28	28
—	—	—	—	104	67	—	—	—	66	237
—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	7
—	—	—	—	—	—	—	—	—	34	34
—	—	—	—	—	—	—	—	—	221	221
—	—	—	—	—	—	—	—	—	262	262

区 分 市 町 村	沖 積 層				洪 積 層					泥 岩
	泥	砂	礫 砂 泥	計	段 丘 砂 礫	二 シ ラ ス 次	高 段 丘 位 礫	礫 流 ・ 軽 石 泥	計	
高 岡 町	—	—	16	16	4	—	11	9	24	18
国 富 町	—	—	37	37	29	—	—	—	29	26
綾 町	—	—	7	7	6	—	6	2	14	6
東 諸 県 郡 計	—	—	60	60	39	—	17	11	67	50
高 鍋 町	—	2	16	18	15	—	—	—	15	9
新 富 町	1	4	22	27	22	—	—	—	22	11
西 米 良 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木 城 町	—	—	7	7	8	—	—	—	8	2
川 南 町	—	0	6	6	52	—	—	—	52	4
都 農 町	—	1	11	12	20	—	—	—	20	—
児 湯 郡 計	1	7	62	70	117	—	—	—	117	26
門 川 町	—	—	11	11	0	—	—	—	—	—
東 郷 町	—	—	10	10	4	—	—	—	4	—
南 郷 村	—	—	5	5	0	—	—	—	—	—
西 郷 村	—	—	4	4	1	—	—	—	1	—
北 郷 村	—	—	4	4	—	—	—	—	—	—
北 方 町	—	—	6	6	0	—	—	—	—	—
北 川 町	—	—	9	9	—	—	—	—	—	—
北 浦 町	—	—	4	4	—	—	—	—	—	—
諸 塚 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
椎 葉 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東 白 杵 郡 計	—	—	53	53	5	—	—	—	5	—
高 千 穂 町	—	—	2	2	1	—	—	—	1	—
日 之 影 町	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
五 ヶ 瀬 町	—	—	2	2	2	—	—	—	2	—
西 白 杵 郡 計	—	—	5	5	3	—	—	—	3	—
町 村 計	3	14	302	319	271	40	23	17	351	102

新 第 三 紀 層				四 万 十 帯						
砂泥互 岩岩層	砂 岩	礫 岩	計	頁勢層 岩を頁 優互岩	砂勢層 岩を砂 優互岩	粘 千 板 枚 岩 岩	粘 砂 板 岩 質 岩	粘 石ズ 板 英を レ含 ンむ 岩	砂互頁 岩層岩	計
8	16	4	46	38	11	—	—	—	—	49
20	12	0	58	—	—	—	—	—	—	—
—	5	1	12	—	—	—	—	—	60	60
28	33	5	116	38	11	—	—	—	60	109
0	1	—	10	—	—	—	—	—	—	—
1	—	—	12	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	1	—	2	262	265
1	3	4	10	—	—	—	—	—	97	97
—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	4	4	36	—	—	1	—	2	359	362
—	—	—	—	59	39	—	—	—	—	98
—	—	—	—	77	40	—	—	—	—	117
—	—	—	—	90	12	39	—	41	—	182
—	23	—	23	39	—	45	5	14	—	103
—	—	—	—	66	16	22	—	13	—	117
—	—	—	—	15	1	105	18	8	—	147
—	—	—	—	—	—	160	62	—	—	222
—	—	—	—	—	—	69	27	—	—	96
—	—	—	—	5	—	99	56	4	—	164
—	—	—	—	—	—	214	76	41	21	352
—	23	—	23	351	108	753	244	121	21	1,598
—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2
—	—	—	—	—	—	94	41	—	—	135
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	94	43	—	—	137
66	91	11	270	582	332	848	287	123	768	2,940

区 分 市 町 村	(凝灰・泥岩・砂岩)	秩 父 帯					シ ラ ス	熔 結 凝 灰 岩	熔 軽火 結 石碎 岩 流岩
		砂 粘 緑 板 色 岩 岩 岩	粘 子 砂 板 ヤ 岩 ト 岩	砂 粘 石 子 板 灰 ヤ 岩 岩 石 ト	互 岩 ・ 砂 層 ・ 礫 頁 岩 岩	計			
県 計	32	118	259	103	34	514	291	—	137
宮 崎 市	—	—	—	—	—	—	3	—	—
都 城 市	—	—	—	—	—	—	38	—	—
延 岡 市	1	—	—	—	—	—	—	—	4
日 南 市	—	—	—	—	—	—	11	—	—
小 林 市	—	—	—	—	—	—	35	—	34
日 向 市	—	—	—	—	—	—	—	—	—
串 間 市	—	—	—	—	—	—	19	—	—
西 都 市	—	—	—	—	—	—	—	—	0
え び の 市	—	—	—	—	—	—	17	—	—
市 計	1	—	—	—	—	—	123	—	38
清 武 町	—	—	—	—	—	—	5	—	—
田 野 町	—	—	—	—	—	—	12	—	—
佐 土 原 町	—	—	—	—	—	—	1	—	—
宮 崎 郡 計	—	—	—	—	—	—	18	—	—
北 郷 町	—	—	—	—	—	—	2	—	—
南 郷 町	—	—	—	—	—	—	2	—	—
南 那 珂 郡 計	—	—	—	—	—	—	4	—	—
三 股 町	—	—	—	—	—	—	7	—	—
山 之 口 町	—	—	—	—	—	—	6	—	—
高 城 町	—	—	—	—	—	—	15	—	—
山 田 町	—	—	—	—	—	—	24	—	—
高 崎 町	—	—	—	—	—	—	14	—	—
北 諸 県 郡 計	—	—	—	—	—	—	66	—	—
高 原 町	—	—	—	—	—	—	20	—	—
野 尻 町	—	—	—	—	—	—	37	—	—
須 木 村	—	—	—	—	—	—	5	—	14
西 諸 県 郡 計	—	—	—	—	—	—	62	—	14

霧島火山		肥薩火山		祖母山	尾鈴山	斑半 花崗 岩岩	花 崗 岩	(水 域)	合 計	備 考
安山 岩	火山 碎屑 物 (第四紀) 安山岩	(第三紀) 安山岩	凝礫 灰岩	火熔流安 碎結紋山 岩岩岩岩	斑流 紋 岩岩					
97	167	59	47	64	255	38	86	29	7,734	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	286	
6	37	15	—	—	—	—	—	1	307	
—	—	—	—	—	1	6	—	—	287	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	295	
22	43	1	—	—	—	—	—	—	231	
—	—	—	—	—	48	—	—	—	118	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	295	
—	—	—	—	—	—	—	—	4	437	
6	72	36	40	—	—	—	—	1	283	
34	152	52	40	—	49	6	—	6	2,539	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	48	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	109	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	57	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	214	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	179	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	64	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	243	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	110	
—	—	—	—	—	—	—	—	—	98	
—	—	—	—	—	—	—	—	0	94	
—	—	7	—	—	—	—	—	—	61	
—	—	—	6	—	—	—	—	2	93	
—	—	7	6	—	—	—	—	2	456	
9	15	—	1	—	—	—	—	1	85	
—	—	—	—	—	—	—	—	3	88	
—	—	—	—	—	—	—	—	3	244	
9	15	—	1	—	—	—	—	7	417	

区分 市町村	(礫岩・泥岩・砂岩) 凝灰岩	帯父秩					計	シ ラ ス	熔 結 凝 灰 岩	熔 軽 火 結 石 碎 岩 流 岩
		砂粘緑 板色 岩岩	粘チ砂 板ヤ 岩ト	砂粘石チ 板灰ヤ 岩岩ト	互岩・ 層・礫 頁岩	岩・砂 礫岩				
高岡町	—	—	—	—	—	—	10	—	—	
国富町	—	—	—	—	—	—	6	—	—	
綾町	—	—	—	—	—	—	2	—	—	
東諸県郡計	—	—	—	—	—	—	18	—	—	
高鍋町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
新富町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
西米良村	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
木城町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
川南町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
都農町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
児湯郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
門川町	1	—	—	—	—	—	—	—	1	
東郷町	0	—	—	—	—	—	—	—	4	
南郷村	—	—	—	—	—	—	—	—	2	
西郷村	—	—	—	—	—	—	—	—	7	
北郷村	—	—	—	—	—	—	—	—	0	
北方町	4	—	—	—	—	—	—	—	11	
北川町	9	—	—	2	—	2	—	—	—	
北浦町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
諸塚村	—	—	3	16	1	20	—	—	4	
椎葉村	—	10	113	45	2	170	—	—	0	
東臼杵郡計	14	10	116	63	3	192	—	—	29	
高千穂町	1	38	67	14	6	125	—	—	56	
日之影町	16	—	42	23	—	65	—	—	—	
五ヶ瀬町	—	70	34	3	25	132	—	—	—	
西臼杵郡計	17	108	143	40	31	322	—	—	56	
町村計	31	118	259	103	34	514	168	—	99	

霧島火山		肥薩火山		祖母山	尾鈴山	斑半 花崗 岩岩	花 崗 岩	(水 域)	合 計	備 考
安山 岩	火山碎 屑物 (第四紀) 安山岩	(第三紀) 安山岩	凝礫 灰岩	火熔流安 碎結紋山 岩岩岩	斑流 紋 岩岩					
-	-	-	-	-	-	-	-	0	145	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	130	
-	-	-	-	-	-	-	-	0	95	
-	-	-	-	-	-	-	-	0	370	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	
-	-	-	-	-	-	3	-	4	272	
-	-	-	-	-	17	1	3	2	145	
-	-	-	-	-	28	-	-	-	90	
-	-	-	-	-	71	-	-	-	103	
-	-	-	-	-	116	4	3	6	714	
-	-	-	-	-	8	-	-	-	119	
-	-	-	-	-	82	1	-	1	219	
-	-	-	-	-	-	-	-	1	190	
-	-	-	-	-	-	-	-	1	139	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	121	
-	-	-	-	1	-	7	25	-	201	
-	-	-	-	1	-	10	27	-	200	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	100	
-	-	-	-	-	-	-	-	0	188	
-	-	-	-	-	-	-	10	5	537	
-	-	-	-	2	90	18	62	8	2,094	
-	-	-	-	46	-	4	1	-	238	
24	-	-	-	16	-	6	15	-	278	
30	-	-	-	-	-	-	5	-	171	
54	-	-	-	62	-	10	21	-	687	
63	15	7	7	64	206	32	86	23	5,195	

2-5 土壤統群分布面積市町村別内訳

区分 市町村	岩石地		未 熟 土							厚層黒ボク土壌			
	岩石地	計	残積性	未熟土壌	砂丘未熟土壌	粗粒火山礫	出物未熟土	風化火山礫	出物未熟土	粗粒風化火山	拋出物未熟土	計	厚層黒ボク土壌
県 計	58	58	40	74	12	27	7	160	78	782			
宮崎 市	—	—	3	34	—	—	—	37	—	9			
都城 市	—	—	—	—	6	9	1	16	15	9			
延岡 市	7	7	9	6	—	—	—	15	—	2			
日南 市	—	—	0	—	—	—	—	10	—	49			
小林 市	1	1	—	—	1	7	—	8	5	78			
日向 市	2	2	3	5	—	—	—	8	—	8			
串間 市	1	1	7	5	—	—	—	12	8	41			
西都 市	1	1	—	—	—	—	—	—	1	32			
えびの 市	3	3	—	—	2	9	4	15	4	91			
市 計	25	25	32	50	9	25	5	121	33	319			
清武 町	—	—	—	—	—	—	—	—	1	9			
田野 町	—	—	—	—	—	—	—	—	2	22			
佐土原 町	—	—	—	8	—	—	—	8	—	3			
宮崎 郡計	—	—	—	8	—	—	—	8	3	34			
北郷 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	31			
南郷 町	—	—	—	—	—	—	—	3	—	5			
南那珂 郡計	—	—	—	—	—	—	—	3	—	36			
三股 町	—	—	—	—	—	—	—	—	4	3			
山之口 町	—	—	—	—	—	—	—	—	5	1			
高城 町	—	—	—	—	—	—	—	—	7	5			
山田 町	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—			
高崎 町	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—			
北諸 郡計	—	—	—	—	—	—	—	2	2	9			
高原 町	1	1	—	—	3	2	—	5	—	13			
野尻 町	—	—	—	—	—	—	—	—	8	30			
須木 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	30			

黒ボク土					褐色森林土					
粗粒黒ボク土壤	多湿黒ボク土壤	淡色黒ボク土壤	粗粒黒ボク土淡色	計	乾性森林褐色土壤	乾性森林(黄褐)褐色土壤	褐色森林土壤	褐色森林土壤(黄褐系)	湿性森林褐色土壤	計
220	78	123	58	1,339	1,268	341	2,774	470	10	4,863
—	—	7	—	16	—	42	7	61	—	110
45	5	—	15	89	35	—	66	—	—	101
—	1	—	—	3	17	65	25	80	—	187
—	—	12	—	61	19	17	97	27	—	160
—	14	3	—	100	32	—	54	—	—	86
—	1	—	—	9	—	25	—	31	—	56
20	1	30	5	105	46	—	97	—	—	143
—	1	6	—	40	111	1	187	10	—	309
—	6	5	—	106	30	—	51	—	—	81
65	29	63	20	529	290	150	584	209	—	1,233
—	—	1	—	11	—	3	11	4	—	18
—	1	3	—	28	19	—	41	—	—	60
—	—	—	—	3	—	4	—	8	—	12
—	1	4	—	42	19	7	52	12	—	90
—	—	2	—	33	12	15	70	25	2	124
—	—	4	—	9	7	—	27	—	—	34
—	—	6	—	42	19	15	97	25	2	158
27	3	6	2	45	12	—	39	—	—	51
18	1	1	5	31	17	—	36	—	—	53
10	—	2	—	24	21	—	27	—	—	48
8	1	—	9	24	2	—	19	—	—	21
57	2	3	9	72	—	—	—	3	—	3
120	7	12	25	196	52	—	121	3	—	176
29	—	2	1	45	4	—	9	—	—	13
6	4	4	5	57	12	—	2	—	—	14
—	—	—	—	30	67	—	135	—	—	202

区 分 市 町 村	赤 黄 色 土		褐 色 低 地 土			灰 色 低 地 土			
	赤 色 土 壤	計	褐 色 低 地 土 壤	粗 低 粒 地 褐 土 色 壤	計	細 低 粒 地 灰 土 色 壤	灰 色 低 地 土 壤	粗 低 粒 地 灰 土 色 壤	計
県 計	3	3	16	3	19	99	143	86	328
宮 崎 市	—	—	3	—	3	23	10	1	34
都 城 市	—	—	—	—	—	—	31	4	35
延 岡 市	3	3	3	—	3	3	8	—	11
日 南 市	—	—	1	—	1	11	4	1	16
小 林 市	—	—	—	—	—	—	3	—	3
日 向 市	—	—	1	—	1	1	2	1	4
串 間 市	—	—	—	—	—	4	5	4	13
西 都 市	—	—	—	—	—	9	9	10	28
え び の 市	—	—	—	—	—	—	8	13	21
市 計	3	3	8	—	8	51	80	34	165
清 武 町	—	—	—	—	—	1	3	3	7
田 野 町	—	—	—	—	—	—	1	4	5
佐 土 原 町	—	—	2	—	2	8	2	1	11
宮 崎 郡 計	—	—	2	—	2	9	6	8	23
北 郷 町	—	—	—	—	—	3	2	—	5
南 郷 町	—	—	—	—	—	4	—	—	4
南 那 珂 郡 計	—	—	—	—	—	7	2	—	9
三 股 町	—	—	—	—	—	—	—	6	6
山 之 口 町	—	—	—	—	—	—	4	—	4
高 城 町	—	—	—	—	—	—	6	4	10
山 田 町	—	—	—	—	—	—	5	—	5
高 崎 町	—	—	—	—	—	—	5	3	8
北 諸 県 郡 計	—	—	—	—	—	—	20	13	33
高 原 町	—	—	—	—	—	—	4	5	9
野 尻 町	—	—	—	—	—	—	3	—	3
須 木 村	—	—	—	—	—	—	—	3	3

グ ラ イ 土				泥 炭 土			そ の 他	合 計	備 考
細 グ ラ イ 土 粒	グ ラ イ 土 壤	粗 グ ラ イ 土 壤	計	低 位 泥 炭 土 壤	黒 泥 土 壤	計			
16	10	6	32	2	2	4	928	7,734	
3	1	1	5	1	1	2	79	286	
—	1	1	2	—	—	—	64	307	
1	1	1	3	—	1	1	54	287	
1	—	—	1	—	—	—	46	295	
—	—	—	—	—	—	—	33	231	
3	1	—	4	—	—	—	34	118	
2	2	3	7	—	—	—	14	295	
1	—	—	1	—	—	—	48	437	
—	—	—	—	—	—	—	57	283	
11	6	6	23	1	2	3	429	2,539	
—	—	—	—	—	—	—	12	48	
—	—	—	—	—	—	—	16	109	
—	2	—	2	1	—	1	18	57	
—	2	—	2	1	—	1	46	214	
—	—	—	—	—	—	—	17	179	
1	—	—	1	—	—	—	13	64	
1	—	—	1	—	—	—	30	243	
—	—	—	—	—	—	—	8	110	
—	—	—	—	—	—	—	10	98	
—	—	—	—	—	—	—	12	94	
—	—	—	—	—	—	—	9	61	
1	—	—	1	—	—	—	9	93	
1	—	—	1	—	—	—	48	456	
—	—	—	—	—	—	—	12	85	
—	—	—	—	—	—	—	14	88	
—	—	—	—	—	—	—	9	244	

区 分 市 町 村	岩 石 地		未 熟 土							
	岩 石 地	計	残 積 性	未 熟 土 壤	砂 丘 未 熟 土 壤	粗 粒 火 山 抛 出 物 未 熟 土	風 化 火 山 抛 出 物 未 熟 土	粗 流 風 化 火 山 抛 出 物 未 熟 土	計	厚 層 黒 ボ ク 土 壤
西諸県郡計	1	1	—	—	3	2	—	5	8	73
高岡町	—	—	—	—	—	—	—	—	1	7
国富町	—	—	—	—	—	—	—	—	1	13
綾町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9
東諸県郡計	—	—	—	—	—	—	—	—	2	29
高鍋町	—	—	—	1	—	—	—	1	—	17
新富町	—	—	—	2	—	—	—	2	—	25
西米良村	5	5	—	—	—	—	—	—	—	11
木城町	2	2	—	—	—	—	—	—	—	16
川南町	—	—	—	—	—	—	—	—	3	51
都農町	—	—	—	2	—	—	—	12	—	35
児湯郡計	7	7	—	5	—	—	—	15	3	155
門川町	1	1	3	1	—	—	—	4	—	1
東郷町	1	1	—	—	—	—	—	—	—	8
南郷村	1	1	—	—	—	—	—	—	—	4
西郷村	1	1	—	—	—	—	—	—	—	11
北郷村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
北方町	4	4	—	—	—	—	—	—	—	2
北川町	3	3	—	—	—	—	—	—	—	1
北浦町	1	1	2	—	—	—	—	2	—	—
諸塚村	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7
椎葉村	7	7	—	—	—	—	—	—	—	21
東臼杵県計	19	19	5	1	—	—	—	6	—	57
高千穂町	—	—	—	—	—	—	—	—	6	44
日之影村	6	6	—	—	—	—	—	—	—	10
五ヶ瀬町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
西臼杵郡計	6	6	—	—	—	—	—	—	6	70
町 村 計	33	33	8	24	3	2	2	39	45	463

黒ボク土				褐色森林土						
粗粒黒ボク土壤	多湿黒ボク土壤	淡色黒ボク土壤	粗粒黒ボク土淡色	計	乾性森林土褐色	乾性森林土(黄褐)褐色	褐色森林土	褐色森林土(黄褐系)	湿性森林土褐色	計
35	4	6	6	132	83	—	46	—	—	229
—	—	—	7	16	15	12	48	19	—	94
—	4	—	—	18	32	4	35	6	—	77
—	—	—	—	9	27	5	42	5	—	79
—	4	—	7	43	74	21	25	30	—	250
—	—	—	—	17	—	—	—	—	—	—
—	1	—	—	26	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	11	82	—	164	—	—	246
—	1	—	—	17	38	5	64	—	—	107
—	9	3	—	66	—	—	—	3	—	3
—	3	—	—	38	—	22	—	13	—	35
—	14	3	—	175	120	27	228	16	—	391
—	—	—	—	1	—	35	—	58	—	93
—	—	—	—	8	27	39	67	52	—	185
—	—	1	—	5	51	—	117	—	—	168
—	—	—	—	11	33	—	82	—	1	116
—	—	—	—	2	35	—	75	—	—	110
—	1	3	—	6	56	4	100	12	—	172
—	—	—	—	1	81	22	133	22	—	258
—	—	1	—	1	12	21	15	31	—	79
—	—	—	—	7	39	—	132	—	—	171
—	—	—	—	21	126	—	322	—	7	455
—	1	5	—	63	460	121	1,043	175	8	1,807
—	10	8	—	68	58	—	97	—	—	155
—	5	8	—	23	64	—	173	—	—	237
—	3	7	—	26	29	—	108	—	—	137
—	18	23	—	117	151	—	378	—	—	529
155	49	60	38	810	978	191	2,190	261	10	3,630

区 分 市 町 村	赤 黄 色 土		褐 色 低 地 土			灰 色 低 地 土			
	赤 色 土 壤	計	褐 色 低 地 土 壤	粗 低 粒 地 褐 土 色 壤	計	細 低 粒 地 灰 土 色 壤	灰 色 低 地 土 壤	粗 低 粒 地 灰 土 色 壤	計
西 諸 県 郡 計	—	—	—	—	—	—	7	8	15
高 岡 町	—	—	1	1	2	7	—	2	9
国 富 町	—	—	—	—	—	10	2	2	14
綾 町	—	—	1	—	1	—	2	3	5
東 諸 県 郡 計	—	—	2	1	3	17	4	7	28
高 鍋 町	—	—	—	—	—	2	2	3	7
新 富 町	—	—	1	—	1	4	4	1	9
西 米 良 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—
木 城 町	—	—	—	—	—	1	2	—	3
川 南 町	—	—	—	—	—	—	3	—	3
都 農 町	—	—	—	—	—	—	2	1	3
児 湯 郡 計	—	—	1	—	1	7	13	5	25
門 川 町	—	—	—	2	2	1	2	1	4
東 郷 町	—	—	—	—	—	3	1	2	6
南 郷 村	—	—	—	—	—	2	—	1	3
西 郷 村	—	—	—	—	—	—	2	2	4
北 郷 村	—	—	—	—	—	—	3	—	3
北 方 町	—	—	1	—	1	2	1	—	3
北 川 町	—	—	2	—	2	—	—	3	3
北 浦 町	—	—	—	—	—	—	—	2	2
諸 塚 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—
椎 葉 村	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東 白 杵 郡 計	—	—	3	2	5	8	9	11	28
高 千 穂 町	—	—	—	—	—	—	1	—	1
日 之 影 町	—	—	—	—	—	—	—	—	—
五 ヶ 瀬 町	—	—	—	—	—	—	1	—	1
西 白 杵 郡 計	—	—	—	—	—	—	2	—	2
町 村 計	—	—	8	3	11	48	63	52	163

グ ラ イ 土				泥 炭 土			そ の 他	合 計	備 考
細 グ ラ イ 土 粒	グ ラ イ 土 壤	細 グ ラ イ 土 粒	計	低 位 泥 炭 土 壤	黒 泥 土 壤	計			
—	—	—	—	—	—	—	35	417	
—	—	—	—	—	—	—	24	145	
1	—	—	1	—	—	—	20	130	
—	—	—	—	—	—	—	1	95	
1	—	—	1	—	—	—	45	370	
—	—	—	—	—	—	—	18	43	
1	1	—	2	—	—	—	21	61	
—	—	—	—	—	—	—	10	272	
1	—	—	1	—	—	—	15	145	
—	—	—	—	—	—	—	18	90	
—	—	—	—	—	—	—	15	103	
2	1	—	3	—	—	—	97	714	
1	—	—	1	—	—	—	13	119	
—	—	—	—	—	—	—	19	219	
—	—	—	—	—	—	—	13	190	
—	—	—	—	—	—	—	7	139	
—	—	—	—	—	—	—	6	121	
—	—	—	—	—	—	—	15	201	
—	—	—	—	—	—	—	13	280	
—	—	—	—	—	—	—	15	100	
—	—	—	—	—	—	—	10	188	
—	—	—	—	—	—	—	54	537	
1	—	—	1	—	—	—	165	2,094	
—	—	—	—	—	—	—	14	238	
—	—	—	—	—	—	—	12	278	
—	—	—	—	—	—	—	7	171	
—	—	—	—	—	—	—	33	687	
5	4	—	9	1	—	1	499	5,195	

3. 土地利用可能性分級

3-1 土地利用可能性分級別面積市町村別内訳

区分 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地	計	備考
県計	—	376	443	2,293	3,259	195	240	928	7,734	
宮崎市	—	42	12	125	24	4	—	79	286	
都城市	—	58	39	106	35	5	—	64	307	
延岡市	—	18	1	29	156	9	20	54	287	
日南市	—	16	1	111	112	9	—	46	295	
小林市	—	13	41	64	69	9	2	33	231	
日向市	—	6	2	54	18	4	—	34	118	
串間市	—	22	9	167	70	13	—	14	295	
西都市	—	19	31	58	252	3	26	48	437	
えびの市	—	10	50	75	85	5	1	57	283	
市計	—	204	186	789	821	61	49	429	2,539	
清武町	—	4	12	19	1	—	—	12	48	
田野町	—	2	11	74	6	—	—	16	109	
佐土原町	—	15	5	19	—	—	—	18	57	
宮崎郡計	—	21	28	112	7	—	—	46	214	
北郷町	—	3	2	107	49	—	1	17	179	
南郷町	—	4	0	35	10	2	—	13	64	
南那珂郡計	—	7	2	142	59	2	1	30	243	
三股町	—	5	11	42	40	—	4	8	110	
山之口町	—	9	0	62	17	—	—	10	98	
高城町	—	10	6	57	9	—	—	12	94	
山田町	—	12	9	26	5	—	—	9	61	
高崎町	—	5	20	47	12	—	—	9	93	
北諸県郡計	—	41	46	234	83	—	4	48	456	
高原町	—	0	36	30	3	4	—	12	85	
野尻町	—	10	14	39	11	—	—	14	88	
須木村	—	1	9	43	150	—	32	9	244	
西諸県郡計	—	11	59	112	164	4	32	35	417	

区分 市町村	1類地	2類地	3類地	4類地	5類地	6類地	7類地	8類地	計	備考
高岡町	—	10	11	88	12	—	—	24	145	
国富町	—	18	9	24	57	—	2	20	130	
綾町	—	2	10	10	67	—	5	1	95	
東諸県郡計	—	30	30	122	136	—	7	45	370	
高鍋町	—	4	19	2	—	—	—	18	43	
新富町	—	13	24	3	—	—	—	21	61	
西米良村	—	0	0	36	204	6	16	10	272	
木城町	—	4	3	29	91	2	1	15	145	
川南町	—	14	18	24	16	—	—	18	90	
都農町	—	4	7	35	40	2	—	15	103	
児湯郡計	—	39	71	129	351	10	17	97	714	
門川町	—	5	3	22	72	4	—	13	119	
東郷町	—	4	3	73	108	3	9	19	219	
南郷村	—	3	1	26	140	7	—	13	190	
西郷村	—	2	5	46	72	1	6	7	139	
北郷村	—	3	1	65	46	—	—	6	121	
北方町	—	2	2	42	99	8	33	15	201	
北川町	—	1	4	20	215	6	21	13	280	
北浦町	—	1	2	6	72	3	1	15	100	
諸塚村	—	0	0	53	118	1	6	10	188	
椎葉村	—	0	0	90	331	49	23	54	537	
東臼杵郡計	—	21	21	443	1,263	82	99	165	2,094	
高千穂町	—	2	0	100	104	15	3	14	238	
日之影町	—	0	0	53	173	13	27	12	278	
五ヶ瀬町	—	0	0	57	98	8	1	7	171	
西臼杵郡計	—	2	0	210	375	36	31	33	687	
町村計	—	172	257	1,510	2,438	134	191	499	5,195	

3-2 土地利用可能性分級と自然条件との関連

3-2-1 土地利用可能性分級と地形区分との関連

土地利用可能性分級 地形区分	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地 (未区分地)	合計	備考
山地・火山地	—	47	104	1,688	3,128	182	238	55	5,442	
丘陵地	—	41	65	301	59	—	2	13	481	
台地・段丘	—	115	187	118	14	—	—	232	666	
低地	—	173	87	186	58	13	—	628	1,145	
合計	—	376	443	2,293	3,259	195	240	928	7,734	

3-2-2 土地利用可能性分級と傾斜区分との関連

土地利用可能性分級 傾斜区分	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地 (未区分地)	合計	備考
0°～3° (S ₁)	—	355	234	44	—	—	—	557	1,190	
3°～8° (S ₂)	—	21	56	2	—	—	—	232	311	
8°～15° (S ₃)	—	—	153	6	11	2	—	93	265	
15°～30° (S ₄)	—	—	—	2,241	55	75	—	46	2,417	
30°～40° (S ₅)	—	—	—	—	3,193	118	5	—	3,316	
40°～ (S ₆)	—	—	—	—	—	—	235	—	235	
合計	—	376	443	2,293	3,259	195	240	928	7,734	

3-2-3 土地利用可能性分級と標高区分との関連

土地利用可能性分級 標高区分	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地	合計	備考
低暖地帯(H ₁)	—	374	403	1,541	1,223	50	61	928	4,580	
山間地帯(H ₂)	—	2	40	752	2,034	35	150	—	3,013	
高冷地帯(H ₃)	—	—	—	—	2	110	29	—	141	
生産限界外地帯(H ₄)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計	—	376	443	2,293	3,259	195	240	928	7,734	

3-2-4 土地利用可能性分級と土壤生産力可能性との関連

土地利用可能性分級 土壤生産力可能性等級区分	一類地	二類地	三類地	四類地	五類地	六類地	七類地	八類地 (未区分地)	合計	備考
はなはだよい(P ₁)	—	1	—	447	548	—	23	—	1,019	
ややよい(P ₂)	—	375	103	1,028	1,422	—	80	—	3,008	
やや劣る(P ₃)	—	—	340	606	826	—	79	—	1,851	
劣る(P ₄)	—	—	—	212	463	78	38	—	791	
はなはだ劣る(P ₅)	—	—	—	—	—	117	12	—	129	
岩石(P ₆)	—	—	—	—	—	—	8	—	8	
未区分地	—	—	—	—	—	—	—	928	928	
合計	—	376	443	2,293	3,259	195	240	928	7,734	

3-3 土地利用可能性分級別主要地域の概要

土地利用可能性分級		1 類 地	2 類 地	3 類 地	4 類 地
地域名 (団地名)			宮崎平野	県南西部地域	南那珂地域
地形	傾斜 (谷密度)		S ₁ ~ S ₂ (0~8°)	S ₁ ~ S ₃ (0~15°)	S ₄ (15 ~ 30°)
	標高 (植栽限界)		0 ~ 100m	100 ~ 400m	100 ~ 1,100m
表層地質	岩石の種類 岩石のかたさ 時代		未固結・半固結～ 固結堆積物 軟 ~ 中 第四紀・新第三紀	安山岩・シラス 熔結凝灰岩・未固 結堆積物 軟 ~ 硬 第四紀・新第三紀	砂岩・頁岩・砂岩 頁岩互相(礫岩) 中 ~ 硬 新第三紀・古第三紀
	土壌	農田 土壌統群生産 力可能性分級		灰色低地土壌 多湿黒ボク土壌	粗粒灰色低地土壌
畑 土壌統群生産 力可能性分級			褐色低地土壌	黒ボク土壌	黒ボク土壌
草地 土壌統群 生産力可能性分級				粗粒黒ボク土壌	黒ボク土壌
林地 土壌統群地位級				褐色森林土壌Ⅱ 黒ボク土壌Ⅱ	褐色森林土壌Ⅱ 黒ボク土壌Ⅱ
水利用	地表水		○	○	○
	地下水		○	○	○
	天水		×	×	×
気候区分			南海区	内陸型	臨海型山地
面積	土地利用可能性類地別 面積県内合計 (A)		376	443	2,293
	当該地域の類地別面積 県内合計 (B)		151	156	253
	% (B/A)		40.2%	35.2%	11.0%

5 類 地	6 類 地	7 類 地	8 類 地 (未区分地)	備 考
入 郷 地 域	五ヶ瀬村 椎葉村	北部山間地域		
S ₃ (30~40°)	S ₃ ~S ₅ (8~40°)	S ₆ (40°~)		
200~1,300m	1,200~1,680m	300~1,643m		
砂岩・頁岩・石英斑 岩 硬 古第三紀	砂岩・粘板岩・緑色 岩・チャート・石灰岩 硬 中世代・古生代	砂岩・粘板岩・千枚 岩・頁岩・緑色岩 硬 古第三紀・中世代		
褐色森林土壤 I~II 乾性褐色森林土 III	湿性褐色森林土 I	乾性褐色森林土(黄 褐系) III 残積性未熟土 V 岩石地		
○ ○ ×	○ △ △	○ ○ ×		
山 地	山 地	山 地		
3,259	195	240	928	
805	57	101		
24.7%	29.2%	42.1%		

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考			
				水田		畑				草地		林地				空地その他		
	包含される示性式	面積	土地利用率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土地利用率	草の種別平均収穫率	土地利用率	人工林		天然林		土地利用占有率		
					土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量率				主要樹種おおよび平均収穫量率	主要樹種おおよび平均収穫量率					
延岡市	1類地																	
	2類地	1.1.2	18	A	89													
	3類地	1.1.3	1			1	そさい											
	4類地	1.1.4 1.4.2 1.4.3 1.4.4 2.4.2	6 9 2 10 2			A	そさい			D	みかん	A B B	マツ スギ 60 スギ 80	C	広 40 広 70		砂丘	
	5類地	1.5.1 2.5.2 1.5.2 2.5.3 1.5.3 2.5.4 1.5.4 3.4.8	14 1 74 2 6 1 56 2									B C B B	スギ 80 スギ 70 スギ 80 ヒノキ 70	C B A A	広 80 広 70 広 50 広 40 広 40			
	6類地	1.4.5 1.5.5	2 7											A A	広 40 広 40			
	7類地	1.6.2 2.6.4 1.6.5 2.6.0 2.5.0 2.6.1 2.6.3	2 3 2 2 1 4 6										B	ヒノキ 70	B A A A	広 80 広 40 広 60 広 40		岩石
	8類地																	
市町村計			233															
日南市	1類地																	
	2類地	1.1.2	16	A	99													
	3類地	1.3.2 1.4.4 1.4.1 2.4.2 1.4.2 2.4.3 1.4.3 2.4.4	1 3 40 5 29 7 23 3			B	そさい	C	みかん			B A B A	スギ 80 スギ 100 スギ 70	C D D A	広 50 広 80 広 70 広 50			
	4類地																	
	5類地	1.5.1 2.5.2 1.5.2 2.5.3 1.5.3 2.5.4 1.5.4	26 16 37 15 7 2 9									B B A B	スギ 100 スギ 70 スギ 60 スギ 60	D C B D D C	広 100 広 70 広 80 広 40			
	6類地	1.4.5 1.5.5	6 3											A A	広 40 広 40			
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			249															

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考	
				水田		畑		草地		林地		空地				
	包含される示性式	面積	土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物おおよび平均収穫量	土占有率	主要作物おおよび平均収穫量	土占有率	草地の種類おおよび平均収穫量率	土占有率	主要樹種おおよび平均収穫量	土占有率	主要樹種おおよび平均収穫量		土地利用占有率
小	1類地															
	2類地	1.1.2 1.2.2	8 5	A	123		A	陸稻 86								
	3類地	1.1.3 2.2.2 1.2.3 2.3.2 1.3.2 3 1.3.3 12	9 5 6 6 3 12	B	123	A A C A	陸稻 86 陸稻 86 陸稻 86 陸稻 86				B B	スギ 100 スギ 100	C C	広 80 広 80		
	4類地	1.4.2 1.4.3 2.4.1 2.4.2 2.4.3	22 6 3 24 9			A	陸稻 86				B A B C	スギ 100 スギ 110 スギ 100 ヒノキ 70	C C B	広 80 広 80 広 80		
	5類地															
	6類地	3.4.5 3.5.5 2.3.5	1 6 2										A A A	広 40 広 40 広 40		
	7類地	2.5.0 2.6.3	1 1										A A	広 40		岩石
	8類地															
市町村計			198													
日	1類地															
	2類地	1.1.2	6	A	84											
	3類地	1.1.3	2	B	82		C	みかん								
	4類地	1.1.4 1.4.2 1.4.3 1.4.4	2 30 2 20	A	92	A	甘藷 79	D	みかん		A B B	マツ 60 スギ 80 スギ 50	C B	広 70 広 40		砂丘
	5類地	1.5.2 1.5.4	17 1								B	スギ 80	B	広 70 広 40		
	6類地	1.4.5	4										A	広 40		
	7類地															
	8類地															
市町村計			84													

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考			
				水田		畑		草地		林地			空地その他					
	類地区区分	含まれる示性式	面積	土占有率	平均収穫量率	土占有率	普通畑 主要作物 および 平均 収穫量	土占有率	樹園地 主要作物 および 平均 収穫量	土占有率	草地の種類 および 平均 収穫量率	土占有率	人工林			天然林		土地利用 占有率
													土占有率	平均収穫量率		土占有率	平均収穫量率	
串間市	1類地																	
	2類地	112 122	19 3	B A	101 101	C	陸稻 102					C	スギ 100 スギ 110					
	3類地	113	9	B	96	C	落下生 97											
	4類地	114 144 141 241 142 243 143	4 6 15 4 79 2 57	A A A	96 99 94	D D B		そさい 甘藷 99					B A A A	スギ 100 スギ 110 スギ 70	C C C	広 50 広 100 広 70		
	5類地	151 252 152 253 153 254 251	2 2 23 11 21 6 5										B C C B	スギ 100 スギ 110 スギ 70 スギ 100	C C C C	広 100 広 70 広 80 広 40		
	6類地	145 156	9 4												A A	広 40 広 40		
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			281															
西都賀市	1類地																	
	2類地	112	19	A	92													
	3類地	113 123 132 133	26 2 2 1	C	88	B A	陸稻 96 陸稻 96		A 桑				B	スギ 100				
	4類地	142 143 144 242 243	23 14 7 2 12						A 桑				B B B	スギ 110 スギ 70 スギ 100 ヒノキ 70	C C A C	広 100 広 60 広 50 広 80 広 70		
	5類地	151 251 152 252 153 253 154 254 244	2 18 89 29 13 65 6 29 1										B B C	スギ 100 スギ 110 スギ 70 ヒノキ 80	B B A A	広 70 広 80 広 80 広 40 広 40		
	6類地	255	3												A	広 40		
	7類地	162 262 163 263 164 264 165 265	3 8 1 2 3 4 2 3										D D	ヒノキ 80 ヒノキ 70	A A A A	広 70 広 50 広 40 広 40		
	8類地																	
市町村計			389															

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑		草地		林地		空地その他					
	土地利用率	平均収獲量率	土地利用率	主要作物および平均収獲量率	土地利用率	主要作物および平均収獲量率	土地利用率	草地の種類および平均収獲量率	土地利用率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用占有率				
えびの市	1類地																
	2類地	112	10	A	128												
	3類地	113 123 132 133 222 232	16 7 3 9 5 10	A A	119 128	A 陸稻 104 A 陸稻 104					B スギ 100 B スギ 100		B 広 80 B 広 80				
	4類地	142 143 242 243	15 6 41 13			B 甘藷 103 C 桑				A スギ 100 A スギ 70 B スギ 100 B ヒノキ 70		D 広 80 D 広 60 C 広 80 C 広 60					
	5類地	151 251 152 252 234 253 244 254	3 7 17 16 1 31 8 2							A スギ 100 A スギ 100 B スギ 70 C ヒノキ 60		C 広 80 C 広 80 C 広 40 C 広 40					
	6類地	245 345 355	2 1 2										A 広 40 A 広 40 A 広 40				
	7類地	263	1										A 広 40				
	8類地																
市町村計			226														
清武町	1類地																
	2類地	112	4	A	99	D そさい											
	3類地	113 132 133	7 4 1	B C	99 99	C そさい B そさい				C スギ 80		C 広 80					
	4類地	141 142 143 144 241	6 5 1 4 3		99	C そさい				A スギ 120 A スギ 100 B スギ 60 A スギ 110		B 広 50					
	5類地	253	1									A 広 60					
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			36														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑		草地		林地		空地その他					
	包含される示性式	面積	土占有率	平均収獲量率	土占有率	主要作物および平均収獲量率	土占有率	主要作物および平均収獲量率	土占有率	草地の種類および平均収獲量率	土占有率	主要樹種および平均収獲量率	土占有率	主要樹種および平均収獲量率		土地利用占有率	
田野	1類地																
	2類地	1.1.2	2	C	90												
	3類地	1.1.3 1.3.2 1.3.3	6 3 2	A B C	90 90 90	D C B	落花生 ¹¹ そさい そさい										
	4類地	1.4.1 2.4.2 3.1 1.1 1.4.2 2.4.3 7 7 1.4.3 1.4 4 1.4.4 2.4.1	31 11 7 7 14 4	A		A	そさい				A B D B	スギ ¹⁰ スギ ¹⁰ スギ ¹⁰ スギ ¹⁰ スギ ¹⁰	スギ ¹⁰ スギ ¹⁰ スギ ¹⁰ スギ ¹⁰ スギ ¹⁰	B A C	広 ³⁰ 広 ⁷⁰ 広 ³⁰ 広 ¹⁰⁰		
	5類地	2.4.4 2.5.3	3 3								D	スギ 70		A A	広 40 広 60		
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			93														
佐土原町	1類地																
	2類地	1.1.2	15	A	94	D	落花生 ¹¹ 114										
	3類地	1.1.3 1.3.2	4 1	C	89	B	そさい				D	スギ 80					
	4類地	1.1.4 1.4.2 1.4.4	6 8 5			A	そさい				A B B	マツ 60 スギ 80 スギ 50		C B	広 70 広 40		
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			39														

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考	
	類地区分	含まれる示性式	面積	水田			畑			草地		林地				空地その他 土地利用 占有率		
				土地利用率	平均収獲量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収獲量	土地利用率	主要作物おおよび平均収獲量	土地利用率	草地の種類おおよび平均収獲量率	土地利用率	人工林	天然林	土地利用占有率			
北郷町	1類地																	
	2類地	112	3	A	95													
	3類地	113 133	1 1			A C	甘藷 99	D B	みかん みかん									
	4類地	141 241 142 242 143 243 144	43 12 28 10 3 8 3	A	95	C	そさい	B	みかん			A C B B B	スギ 100 スギ 100 スギ 100 スギ 60	スギ 100 スギ 100 スギ 70 スギ 60	B C D C	広 100 広 80 広 70 広 50		
	5類地	151 252 152 253 153 254 244	3 8 7 12 5 5 6 3									A B B B C	スギ 100 スギ 100 スギ 70 スギ 60	スギ 100 スギ 100 スギ 70 スギ 60	C C C C A	広 100 広 80 広 80 広 80 広 40		
	6類地																	
	7類地	262	1												A	広 50		
	8類地																	
市町村計			162															
南郷町	1類地																	
	2類地	112	4	A	98													
	3類地																	
	4類地	141 142 143 144	16 8 10 1	A	98	C	そさい	B	みかん			A A B D	スギ 120 スギ 100 スギ 70 スギ 60		C B	広 60 広 50		
	5類地	151 152 153 253	2 5 2 1									A B B B	スギ 110 スギ 100 スギ 70 スギ 70		D C C C	広 70 広 60 広 60 広 60		
	6類地	145 155	1 1												A A	広 40 広 40		
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			51															

市町村名	類地区分			土地利用の現況														備考	
				水田				畑				草地		林地					空地その他
	類地区分	含まれる形式	面積	土占有率	平均収獲量率	土占有率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収獲量率	人工林		天然林		土地利用占有率		
							土占有率	主要作物および平均収獲量	土占有率	主要作物および平均収獲量			土占有率	主要樹種および平均収獲量	土占有率	主要樹種および平均収獲量			
三股町	1類地																		
	2類地	1.12 1.22	4 1	A	101		C	陸稻 109	B	茶									
	3類地	1.13 1.32	10 1	C D	101 101	B A	陸稻 109 陸稻 109												
	4類地	1.41 1.42 1.43 2.42 2.53	23 7 1 8 3	D C	101 101	D B	陸稻 109 陸稻 109	C	桑			A A B C	スギ 120 スギ 100 スギ 100 スギ 70		C B B	広 80 広 60			
	5類地	2.51 2.52 2.53 2.54	3 19 17 1										B C C C	スギ 100 スギ 80 ヒノキ 70 ヒノキ 60	C B B B	広 80 広 60 広 60 広 40			
	6類地																		
	7類地	1.62 2.62 2.64	1 1 2										A	スギ 60		A A	広 60 広 40		
	8類地																		
市町村計			102																
山之口町	1類地																		
	2類地	1.12 1.22	8 1	B	101	C A	陸稻 108 陸稻 108												
	3類地																		
	4類地	1.41 1.42 1.43 2.43	17 22 18 5			A	陸稻 108						A B B C	スギ 120 スギ 100 スギ 70 ヒノキ 70	C C B	広 80 広 60 広 60			
	5類地	1.52 1.53 2.52 2.53	6 4 1 6										B B B B	スギ 100 ヒノキ 80 スギ 80 ヒノキ 70	C B B B	広 70 広 60 広 60 広 60			
	6類地																		
	7類地																		
	8類地																		
市町村計			88																

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	土地利用率	平均収獲量率	土地利用率	主要作物および平均収獲量率	土地利用率	主要作物および平均収獲量率	土地利用率	草地の種類および平均収獲量率	土地利用率	人工林	天然林	土地利用率	土地利用占有率				
高城町	1類地																
	2類地	112	10	B	103	C	陸稻 109										
	3類地	113	6	B	103	C	陸稻 109										
	4類地	142 142 243	17 38 2	C A	103 103	B D	陸稻 109 陸稻 109				B B B	スギ 100 スギ 70 ヒノキ 70	C C B	広 80 広 60 広 60			
	5類地	151 153	2 7								A B	スギ 110 ヒノキ 80	B	広 60			
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			82														
山田町	1類地																
	2類地	112 122	10 2	B C	113 113	C B	陸稻 108 陸稻 108										
	3類地	113 132	2 7	B	113	A	陸稻 108	C	桑		A	スギ 100					
	4類地	142 143 144	18 6 2			A	陸稻 108				B B B	スギ 100 スギ 70 スギ 60	C C C	広 80 広 60 広 50			
	5類地	153	5								B	ヒノキ 80	C	広 60			
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			52														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考			
				水田		畑				草地		林地		空地その他				
	土地利用率	平均収穫量率	普通畑	主要作物および平均収穫量	樹園地	主要作物および平均収穫量	土地利用率	主要作物および平均収穫量	土地利用率	種類および平均収穫量	人工林	主要樹種および平均収穫量	天然林			主要樹種および平均収穫量	土地利用占有率	
高町	1類地																	
	2類地	112 122	4 1	A B	108 108		陸稲 106											
	3類地	113 123 132 133	10 1 5 4	C A B B	108 108 108 108	B C	陸稲 106 陸稲 106		C	桑			C	スギ 100				
	4類地	142 144	41 6	C C	108 108	B B	陸稲 106 陸稲 106						B C	スギ 100 スギ 70	C B	広 80 広 60		
	5類地	152 153	6 6										B B	スギ 100 ヒノキ 80	C C	広 70 広 60		
	6類地																	
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			84															
高原町	1類地																	
	2類地																	
	3類地	113 222 123 232 132 133	15 1 4 5 5 6	B C B C	115 115 115 115	C B C B	陸稲 77 陸稲 77 陸稲 77 陸稲 77						A B B B	スギ 100 スギ 100 スギ 70 スギ 70	C	広 80		
	4類地	142 143 241 242 243	8 4 2 11 5										B B A B	スギ 100 スギ 70 スギ 110 スギ 100	C A	広 80 広 60		
	5類地	244	3												A	広 40		
	6類地	255 355	2 2												A A	広 40 広 40		
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			73															

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考	
				水田		畑				草地		林地				空地その他		
	包含される示性式	面積	土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫量率	人工林		天然林		土地利用占有率			
					土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	主要作物および平均収穫量			土占有率	主要樹種および平均収穫量	土占有率	主要樹種および平均収穫量				
野尻町	1類地																	
	2類地	11.2	10	B	117	C	陸稻 82											
	3類地	11.3 13.2 13.3	7 4 3	C	117	A B A	陸稻 80 陸稻 82 陸稻 80				C	スギ 60						
	4類地	14.2 14.3 24.3	26 11 2			A	陸稻 10.8				B B B	スギ 100 スギ 70 スギ 70	C C B	広 80 広 60 広 60				
	5類地	15.2 25.3	4 7								B B	スギ 100 ヒノキ 70	C B	広 70 広 60				
	6類地																	
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			74															
須木村	1類地																	
	2類地	1.21	1								B	スギ 110						
	3類地	11.3 13.1 13.2 13.3	4 2 3	A	102	A	陸稻 5.8				B	スギ 100						
	4類地	14.2 24.1 24.2 24.3	10 9 10 14								A B B B	スギ 110 スギ 120 スギ 100 ヒノキ 70	C C B	広 100 広 80 広 70				
	5類地	15.1 25.3 15.2 25.4 25.1 25.2	9 31 21 36 19 34								A C A B	スギ 20 スギ 100 スギ 110 スギ 80	C B A	広 80 広 30 広 40				
	6類地																	
	7類地	16.1 16.2 16.3 26.2 26.3 26.4	3 8 6 9 3 3								C	ヒノキ ヒノキ	80 70	A B A A A	広 80 広 70 広 80 広 50 広 40			
	8類地																	
市町村計			235															

市町 村名	類地区分			土地利用の現況													備考		
				水田			畑				草地			林地				空地その他	
	区分	包含される示性式	面積	土地利用率	平均収獲量率	土地利用率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収獲量率	土地利用率	人工林		天然林		土地利用占有率	
							土地利用率	主要作物および平均収獲量	土地利用率	主要作物および平均収獲量				主要樹種および平均収獲量	土地利用率	主要樹種および平均収獲量			
高岡町	1類地																		
	2類地	112	10	A	90	D	陸稻 89												
	3類地	113	3	D	87	A	陸稻 87												
		123	1				A	みかん											
		132	4				B	みかん					C	スギ 100					
		133	3	C	87								A	スギ 70					
	4類地	141	8																
		142	39				B	陸稻 87					A	スギ 120					
143		30				C	茶					B	スギ 100		C	広 80			
144		10										B	スギ 70		C	広 60			
243	1										B	スギ 60		C	広 50				
5類地	151	4										B	スギ 110						
152	7											B	スギ 100		C	広 70			
154	1													A	広 50				
6類地																			
7類地																			
8類地																			
市町村計			121																
富田町	1類地																		
	2類地	112	18	A	91														
	3類地	113	6	D	89	A	陸稻 86												
		123	1			A	陸稻 86												
		132	1			A	陸稻 86												
		133	1			A	陸稻 86												
	4類地	134	5																
		142	13																
143		6			A	甘藷 86						B	スギ 80		B	広 60			
152		9																	
153	6																		
252	9																		
253	6																		
254	21																		
6類地																			
7類地	262	2													A	広 50			
8類地																			
市町村計			110																

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	類地区分	包含される示性式	面積	土占有率	平均収獲量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収獲量率	人工林		天然林		土地利用占有率	
						土占有率	主要作物および平均収獲量	土占有率	主要作物および平均収獲量			土占有率	主要樹種および平均収獲量	土占有率			主要樹種および平均収獲量
綾町	1類地																
	2類地	112	2	A	92												
	3類地	113 132 133	5 1 4	A	92	D	陸稻 83					C	スギ 100 スギ 70				
	4類地	142 143	5 5			A	陸稻 83	D	みかん			A	スギ 110 スギ 70	C	広 60		
	5類地	151 152 252 253 254	8 2 5 17 9									A B C C	スギ 120 スギ 100 スギ 80 ヒノキ 70	C B B A	広 70 広 60 広 60 広 40		
	6類地																
	7類地	162 163	2 3											A	広 70 広 50		
	8類地																
市町村計			94														
高鍋町	1類地																
	2類地	112	4	A	105	D	そさい										
	3類地	113 123 133	13 5 1	C	105	B A A	落花生 91 甘藷 109 甘藷 109							D D	広 60 広 50		
	4類地	114 143	1 1			A	甘藷 109					A	マツ 60				砂丘
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			25														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	土地利用率	平均収獲量率	土地利用率	普通畑 主要作物 および 平均収獲量	土地利用率	樹園地 主要作物 および 平均収獲量	土地利用率	草地の種類 および 平均収獲量率	土地利用率	人工林 主要樹種 および 平均収獲量	土地利用率	天然林 主要樹種 および 平均収獲量	土地利用 占有率				
新富町	1類地																
	2類地	112	13	A	108												
	3類地	113 123 133	12 10 2			A A A	甘藷 109 落花生 91 甘藷 109						D D	広 広	60 50		
	4類地	114 143	2 1					A	茶・桑				D	広	50		
	5類地																
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			40														
西米良村	1類地																
	2類地																
	3類地																
	4類地	141 241 242 243	2 15 2 17								A B C	スギ 140 スギ 120 スギ 100 ヒノキ 70	C B C	広 広 広	100 80 70		
	5類地	151 252 152 253 244 254 251 56	5 37 26 59 3 18 56								A B C C B	スギ 110 スギ 80 スギ 70 スギ 100 スギ 110	B B A A C	広 広 広 広 広	60 60 40 60		
	6類地	145 245 255 345 355	1 1 2 1										A A	広 広	40 40		
	7類地	262 263 265 355	9 5 1 1								B	ヒノキ 70	B A A A	広 広 広 広	60 50 40 40		
	8類地																
市町村計			262														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	包含される示性式	面積	土占有率	平均収穫量率	普通畑		樹園地		土占有率	草地の種類および平均収穫率	人工林		天然林			土地利用占有率	
					土占有率	主要作物および平均収穫量	土占有率	主要作物および平均収穫量			土占有率	主要樹種および平均収穫量	土占有率	主要樹種および平均収穫量			
木 城 町	1類地																
	2類地	112	4	A	98												
	3類地	113 123	2 1			A A	陸稻 98 陸稻 109										
	4類地	142 143 144	18 4 7			A	甘藷 109				B B	スギ 110 スギ 70	C C	広 100 広 50			
	5類地	151 252 152 253 153 254 154	9 15 24 16 11 15 1								A C B B B	スギ 130 スギ 100 スギ 80	スギ 50 スギ 70	B C B B A A	広 30 広 30 広 30 広 40		
	6類地	155	2											A	広 40		
	7類地	164	1											A	広 40		
	8類地																
市町村計			130														
川 南 町	1類地																
	2類地	112 122	12 2	B C	113 113	C B	甘藷 120 甘藷 120										
	3類地	113 132 133	14 1 3	A	113	A D D	甘藷 120 甘藷 120 落花生 96	D A	みかん みかん								
	4類地	142 143 144 242	14 3 1 6			C	甘藷 120	B	みかん		B B B	スギ 80 スギ 50 スギ 80	C C B	広 70 広 40 広 70			
	5類地	152 252 254	5 8 3								A A B	スギ 80 スギ 70 ヒノキ 60	D D C	広 70 広 60 広 40			
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			72														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考	
				水田		畑				草地		林地				空地その他
	包含される示性式	面積	土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量率	土占有率	草地の種類および平均収穫量率	土占有率	主要樹種および平均収穫量率	土占有率	主要樹種および平均収穫量率		土地利用占有率
都農町	1類地															
	2類地	1.1.2	4	A	105			D	ぶどう							
	3類地	1.1.3 1.2.3 1.3.3	5 1 1	C A C	105 105 105	B D	そさい そさい									
	4類地	1.4.2 1.4.3 1.4.4 2.4.2	8 7 7 13			C	甘藷 120	B	みかん			A	スギ 80	D	広 70	
	5類地	1.5.2 2.4.4 2.5.2 2.5.4	5 5 20 10									B B B C	スギ 80 ヒノキ 60 スギ 70 ヒノキ 60	C B C B	広 70 広 40 広 50 広 40	
	6類地	3.5.4	2											A	広 40	
	7類地															
	8類地															
市町村計			88													
川門町	1類地															
	2類地	1.1.2	5	A	78	D	そさい									
	3類地	1.1.3	3	A	78	D	そさい									
	4類地	1.4.1 1.4.2 1.4.4	1 13 9									B B	スギ 80 スギ 60	C B	広 70 広 40	
	5類地	1.5.2 1.5.4 2.5.4	46 18 8									B A C	スギ 80 スギ 70 ヒノキ 60	C A B	広 70 広 40 広 40	
	6類地	1.4.5 1.5.5	2 2											A A	広 40 広 40	
	7類地															
	8類地															
市町村計			106													

市町村名	類地区分			土地利用の現況														備考
				水田		畑				草地				林地				
	土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要作物おおよび平均収穫量率	土地利用率	草地の種類おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用率	主要樹種おおよび平均収穫量率	土地利用占有率			
東郷町	1類地																	
	2類地	1.12	4	A	76													
	3類地	1.13	3	C	76	B	甘藷 73											
	4類地	1.42 1.43 1.44 2.43	56 5 16 1			A A	そさい そさい				B B B B	スギ スギ ヒノキ ヒノキ	110 70 70 70	C C B B	広 広 広 広	100 80 50 70		
	5類地	1.51 2.52 1.52 2.53 1.53 2.54 2.52	3 7 48 15 6 18 11								B B C B	スギ スギ ヒノキ ヒノキ	80 100 80	B B C A	広 広 広 広	80 80 80 40		
	6類地	2.55	3											A	広	40		
	7類地	1.62 1.63 2.63 2.64 2.65	1 3 4 1								B	ヒノキ 80		B A A A A	広 広 広 広 広	70 50 50 40 40		
	8類地																	
市町村計			200															
南郷村	1類地																	
	2類地	1.12	3	A	76	D	甘藷 73											
	3類地	1.13	1	A	75													
	4類地	1.42 2.41 2.42 2.43	18 4 2 2								B B B B	スギ スギ スギ ヒノキ	110 120 100 70	C C C C	広 広 広 広	100 100 80 70		
	5類地	1.51 2.51 1.52 2.52 1.53 2.53 2.44 2.54	22 9 6 37 4 53 1 8								A A B B B	スギ スギ ヒノキ ヒノキ	110 80 70	C C C A	広 広 広 広	80 80 80 80		
	6類地	2.55 3.55	6 1											A A	広 広	40 40		
	7類地																	
	8類地																	
市町村計			177															

市町村名	類地区区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑		草地		林地		空地その他					
	包含される示性式	面積	土占有率	平均収獲量率	土占有率	主要作物および平均収獲量率	土占有率	主要作物および平均収獲量率	土占有率	草地の種類および平均収獲量率	土占有率	主要樹種および平均収獲量率	土占有率	主要樹種および平均収獲量率		土地利用占有率	
																	人工林
西郷村	1類地																
	2類地	1.1.2	2	A	76												
	3類地	1.1.3 1.3.3	4 1	C	76	B A	甘藷 73 甘藷 73										
	4類地	1.1.4 2.4.1 1.4.1 2.4.2 1.4.2 2.4.3 1.4.3	4 4 15 6 6								B B B B	スギ 120 スギ 100 スギ 80 スギ 110 スギ 70	C C C C	広 100 広 80 広 70 広 60			
	5類地	1.5.1 1.5.2 1.5.3 2.5.1 2.5.2 2.5.3	20 9 2 2 15 21								B B B A B	スギ 120 スギ 100 スギ 80 スギ 110 スギ 80 スギ 70	C C C C C	広 100 広 70 広 60 広 60 広 60			
	6類地	2.5.5	1														
	7類地	1.6.2 1.6.3 2.6.3	2 2 2								B	ヒノキ 80	B A A	広 70 広 50 広 50			
	8類地																
市町村計			132														
北郷村	1類地																
	2類地	1.1.2	3	A	76												
	3類地	1.1.3	1			A	甘藷 73										
	4類地	1.4.1 1.4.2 1.4.3 2.4.1 2.4.2 2.4.3	22 2 7 6 13 15								A A B B B	スギ 140 スギ 110 スギ 70 スギ 120 スギ 100 スギ 70	D B C C C	広 100 広 60 広 100 広 80 広 70			
	5類地	1.5.1 1.5.2 1.5.3 2.5.3	16 8 13 9								B B B B	スギ 120 スギ 100 ヒノキ 80 ヒノキ 70	C C C C	広 100 広 70 広 60 広 60			
	6類地																
	7類地																
	8類地																
市町村計			115														

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考				
	類地区分	包含される示性式	面積	水田		畑				草地			林地				空地その他		
				土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物おおよび平均収穫量	土占有率	主要作物おおよび平均収穫量	土占有率	草地おおよび平均収穫量率	土占有率	主要樹種おおよび平均収穫量	土占有率		主要樹種おおよび平均収穫量		土占有率	
北 方 町	1類地																		
	2類地	1.1.2	2	B	82	C	そさい												
	3類地	1.3.2	2	A	82	D	そさい												
	4類地	1.41 2.41 1.42 2.42 1.43 2.43 1.44	7 5 17 4 3 5 1	D	82	A A	甘藷 79 甘藷 79					A A C C	スギ 110 スギ 100 ヒノキ 70	スギ 100 スギ 70 ヒノキ 70	B D B B	広 100 広 80 広 70 広 50			
	5類地	1.51 2.51 1.52 2.52 1.53 2.53 1.54 2.54	13 2 32 11 5 28 4 4									B B C C	スギ 100 スギ 80 ヒノキ 70	スギ 80 スギ 70 ヒノキ 70	B C B B	広 100 広 70 広 60 広 50 広 40			
	6類地	2.45 2.55 3.44 3.54 3.55	1 1 3 2 1												A A A A	広 40 広 40 広 40 広 40			
	7類地	1.62 1.63 2.50 2.62 2.63 2.64	3 2 7 18 1									B B	ヒノキ 80 ヒノキ 70	広 70 広 50 広 50 広 40					
	8類地																		
市町村計			186																
北 川 町	1類地																		
	2類地	1.1.2	1			A	そさい												
	3類地	1.1.3	4	B	76	C	そさい												
	4類地	1.41 1.42 2.42 2.43	2 9 2 7									A B B	スギ 140 スギ 110 スギ 100 ヒノキ 70	スギ 100 スギ 70 ヒノキ 70	C C B	広 100 広 80 広 70			
	5類地	1.51 2.51 1.52 2.52 1.53 2.53 1.54 2.54 2.44	30 4 83 23 13 23 15 20 4									B C C C	スギ 100 スギ 80 ヒノキ 70	スギ 80 スギ 70 ヒノキ 70	B B B C	広 100 広 70 広 60 広 50 広 40			
	6類地	1.55 3.44 3.54 3.55	1 3 2												A A A	広 40 広 40 広 40			
	7類地	1.61 1.62 1.63 2.62 2.63 2.65	4 5 4 1 6 1									B C	スギ 100 ヒノキ 80 ヒノキ 70	広 80 広 70 広 50 広 50 広 40					
	8類地																		
市町村計			267																

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考	
				水田		畑				草地			林地					空地その他
	包含される形式	面積	土地利用率	平均収獲量率	普通畑		樹園地		土地利用率	草地の種類および平均収獲量率	土地利用率	人工林		天然林		土地利用占有率		
					土地利用率	主要作物および平均収獲量率	土地利用率	主要作物および平均収獲量率				土地利用率	主要樹種および平均収獲量率	土地利用率	主要樹種および平均収獲量率			
北浦町	1類地																	
	2類地	1.1.2	1	C	76	C	そさい											
	3類地	1.1.3	2	C	76	B	そさい											
	4類地	1.4.2 1.4.3 1.4.4	2 2 2								B B A	スギ スギ ヒノキ	80 60 60	B B	広 広	70 50		
	5類地	1.5.2 1.5.3 1.5.4 2.4.4 2.5.3 2.5.4	4.4 2 10 6 6 9								B C B B C	スギ スギ ヒノキ ヒノキ ヒノキ	80 70 60 70 60	B B A B B	広 広 広 広 広	70 60 40 40 50 40		
	6類地	1.4.5 1.5.5	1 2											B A	広 広	40 40		
	7類地	1.5.0	1															岩石地
	8類地																	
市町村計			85															
曙塚村	1類地																	
	2類地																	
	3類地																	
	4類地																	
	5類地	1.5.1 2.5.2 1.5.2 2.5.3 1.5.3 2.5.4 2.5.1	8 4.8 4 2.1 10 4 28								A B A C B	スギ スギ ヒノキ スギ スギ	80 70 70 80 80	D C D B A B C	広 広 広 広 広	80 80 80 80 80		
	6類地	3.5.4																
	7類地	2.6.2 2.6.3 2.6.4 2.6.1	1 1 4								B C	ヒノキ ヒノキ	70 80	B A A B	広 広 広 広	60 50 40 70		
	8類地																	
市町村計			178															

市町村名	類地区分			土地利用の現況											備考		
				水田		畑				草地		林地				空地その他	
	包含される形式	面積	土占有率	平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量率	土占有率	主要作物および平均収穫量率	土占有率	草地の種類および平均収穫量率	土占有率	主要樹種および平均収穫量率	土占有率	主要樹種および平均収穫量率		土地利用占有率	
椎葉村	1類地																
	2類地																
	3類地																
	4類地	241 242 243	32 36 22								B B B	スギ 140 スギ 110 ヒノキ 70	C C B	広 広 広	100 80 70		
	5類地	151 244 251 252 253 254	5 3 83 129 86 15								B B B B	スギ 120 スギ 110 スギ 80 スギ 70	C A C E B A	広 広 広 広 広 広	100 40 80 80 80 40		
	6類地	255 344 345 354 355	4 23 2 18 2										A A A A A	広 広 広 広 広	40 40 40 40 40		
	7類地	262 263 264 265 364									B	ヒノキ 70	B A A A A	広 広 広 広 広	80 50 40 40 40		
	8類地																
	市町村計		483														
高千穂町	1類地																
	2類地	212	2	A	97	D	甘藷 71										
	3類地																
	4類地	142 143 241 242 243	5 2 34 25 31	A B C	98 97 97 93	D C C D	甘藷 71 大豆 99 甘藷 71 大豆 99			D C	カヤ カヤ	A B B	スギ 140 スギ 110 ヒノキ 70	C B	広 広	80 70	
	5類地	251 252 253 254	11 52 36 5									B	ヒノキ 70	B A	広 広	60 40	
	6類地	344 354 355	2 10 3											A A A	広 広 広	40 40 40	
	7類地	263 264	2 1											A A	広 広	50 40	
	8類地																
	市町村計		224														

市町村名	類地区分			土地利用の現況													備考				
	類地区分	包含される示性式	面積	水田		畑				草地			林地					空地その他			
				土地利用率	平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	主要作物および平均収穫量率	土地利用率	草地の種類および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用率	主要樹種および平均収穫量率	土地利用占有率					
日影町	1類地																				
	2類地																				
	3類地																				
	4類地	142 143 144 241 242 243	3 4 14 13 19	B C	97 97	B	大豆 99 甘藷 71				A B B B	スギ 140 70 120 100 70	B C C	広 広 広	50 100 80 70						
	5類地	151 251 152 252 154 253 244 254	15 38 7 75 2 30 2 9								B B B B	スギ 120 スギ 110 スギ 80 スギ 60	C C C A	広 広 広 広	80 80 80 40						
	6類地	255 354 355	3 5 5										A A A	広 広 広	40 40 40						
	7類地	262 263 264 261 260	8 5 5 8 1								B B	ヒノキ 70 ヒノキ 80	B A A C	広 広 広 広	60 50 40 70						
	8類地																				
	市町村計			266																	
五ヶ瀬町	1類地																				
	2類地																				
	3類地																				
	4類地	241 242 243	20 25 12	B D	98 97	D C	甘藷 71 大豆 99	D D	茶 茶		A A B	スギ 140 スギ 110 ヒノキ 70	D C	広 広	80 70						
	5類地	251 252 253 254	25 47 25 1								B B B	スギ 110 スギ 100 ヒノキ 70	C B A	広 広 広	80 60 60 40						
	6類地	344 354	7 1										A A	広 広	40 40						
	7類地	263	1										A	広	50						
	8類地																				
	市町村計			164																	

1974年3月 印刷発行

縮尺 20 万分の 1

土地分類図付属資料

宮 崎 県

編集発行 経済企画庁総合開発局国土調査課

印刷 アイコー印刷株式会社

東京都中野区沼袋 2 - 38 - 16

電話 (389) 4761~2

